

テトとせのたかかサル

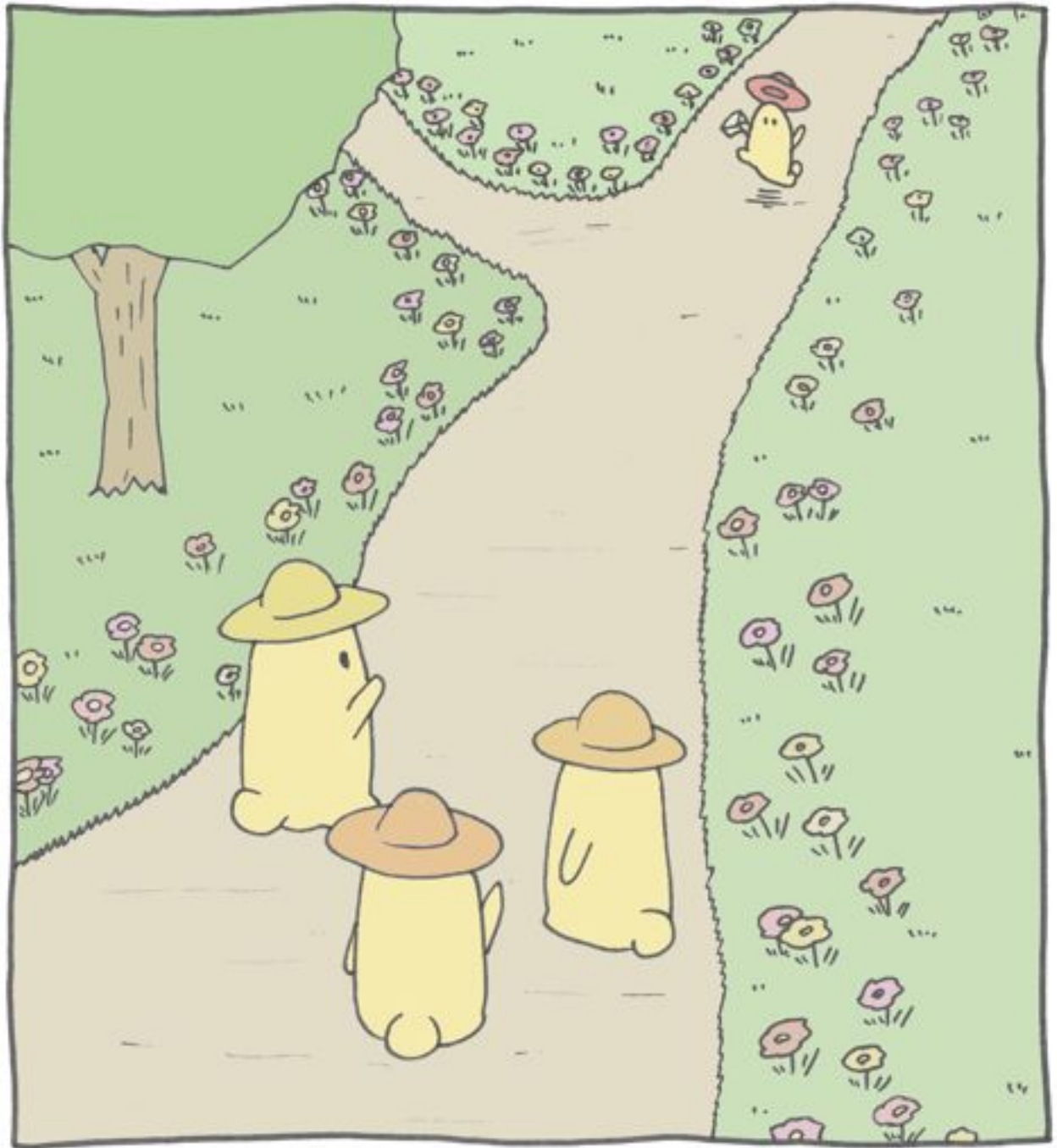
リーデルミカ

この本の長崎版を作るにあたって翻訳に協力してくださった中村千賀子さんに感謝致します。

2015 riedelcastro publishing.



あるひのことたいテトはいつうの
てがみばうけとったと。そいはさテトの
ともだちのサルからのてがみやったとき。
そんてがみにはさサルがちかかうちに
テトのすんどるまちテトラにくるて
かいてあったとげなさ。



テトは おおよろこびさ。ていうともさ サルは
テトの すごく なかのよか ともだちやったとよ。
テトは まちの ともだちに サルが くることば
うれしそうに はなしたとげな。

ある ゆうじんが テトに きいたとき。

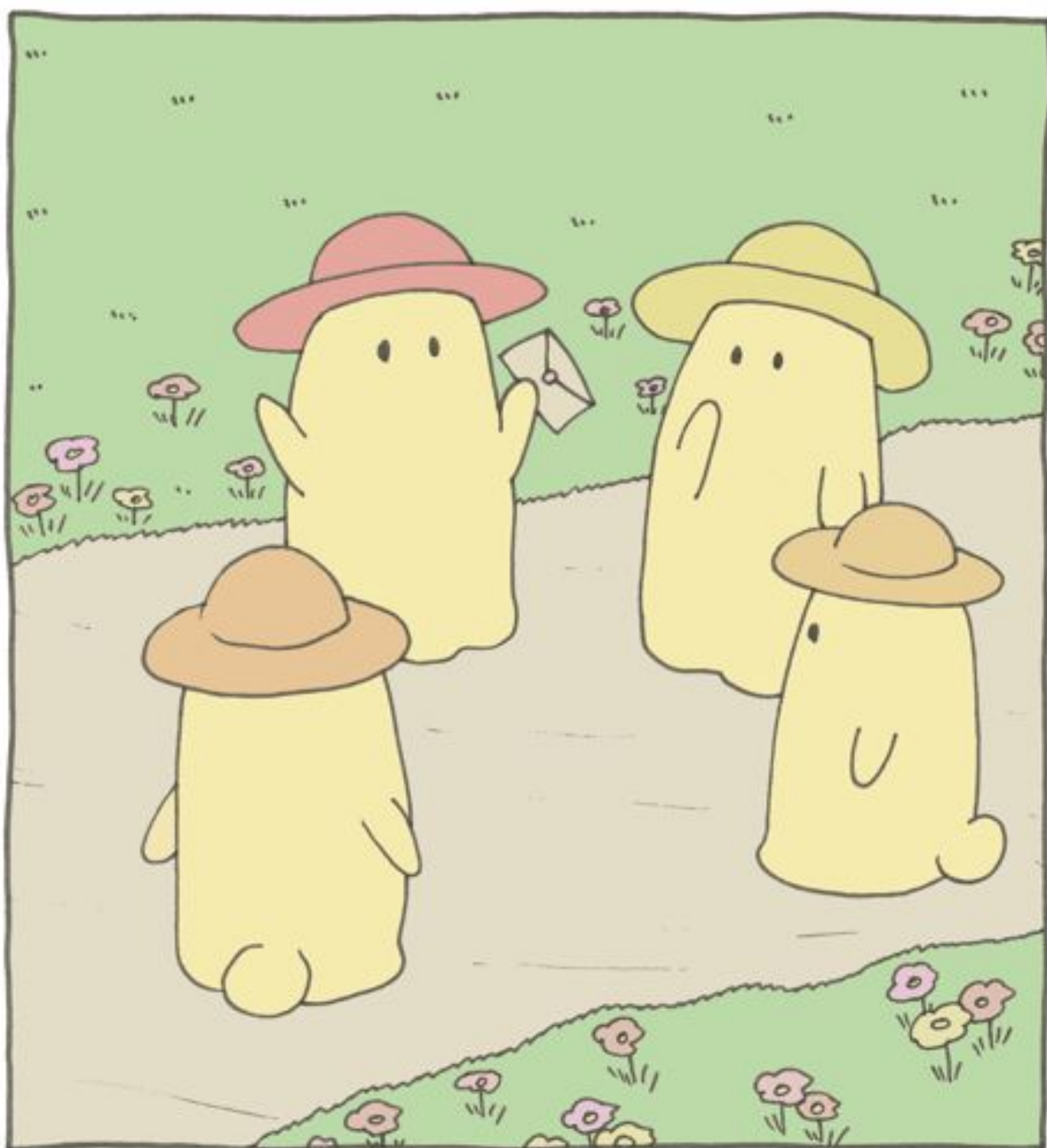
「サルってさ どがん テトラね？」

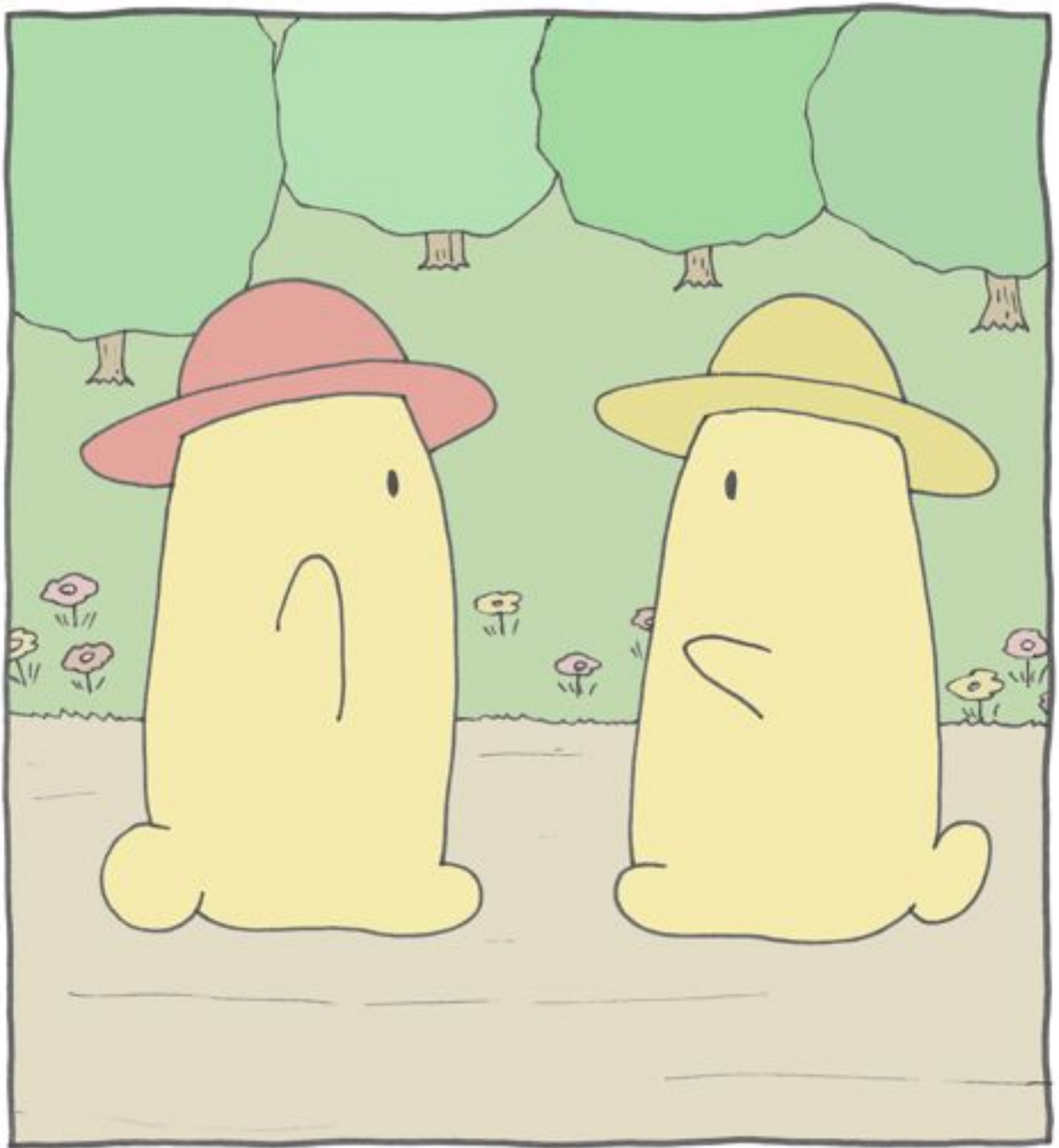
テトは こたえたとはい。

「サルは テトラじゃなかと。」

「そしたら サルって なんね？」

「サルは サルたい。すごく せの たかかと。」



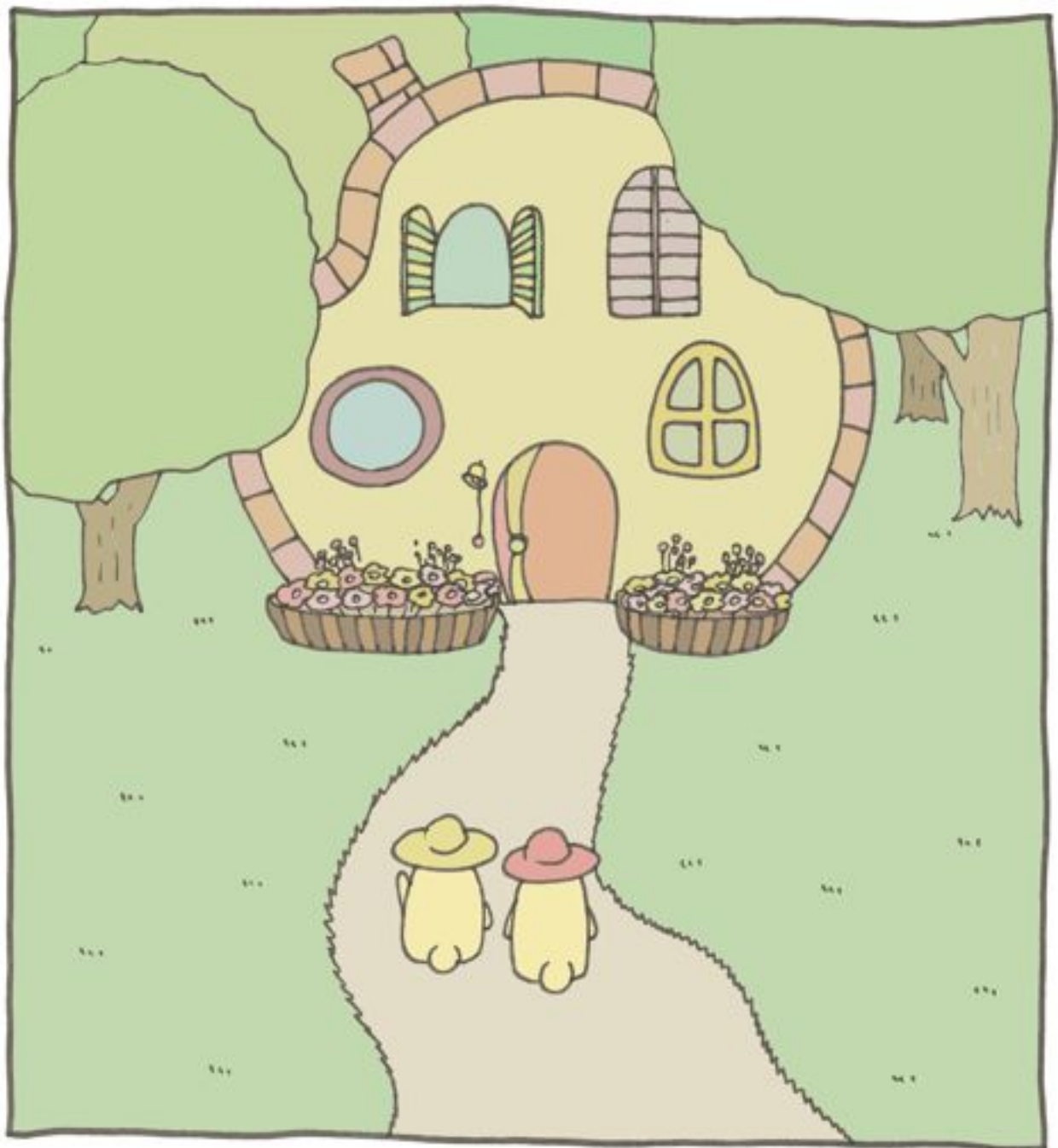


「どんくらい たかかと？」

「ものすごお。」

「そげんね。でも どんくらい？おいの にいちゃん
よりも？」

「わいのにいちゃん しらんけん わからん。」

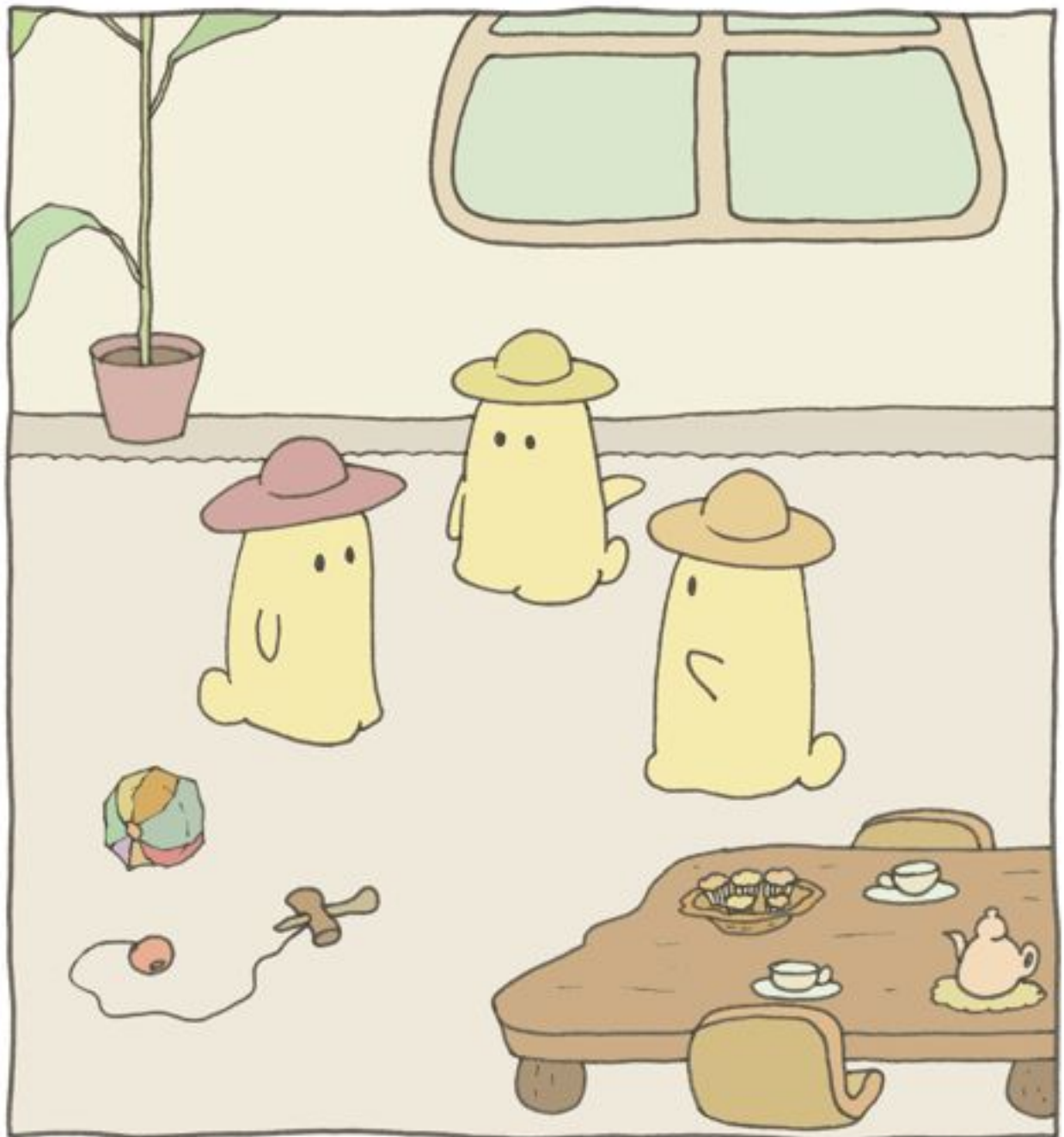


ゆうじんが いうたとき。

「そんなら うちんがたに こんね。にいちゃん
いま おるて おもうけん。」

テトは いうたよ。

「よかよ。」



ゆうじんが いうたとき。

「おいの にいちゃんばい。」

ゆうじんの おにいさんが テトに あいさつば
したと。

「こんにちは!」

テトも あいさつば したと。

「...こんにちは。」



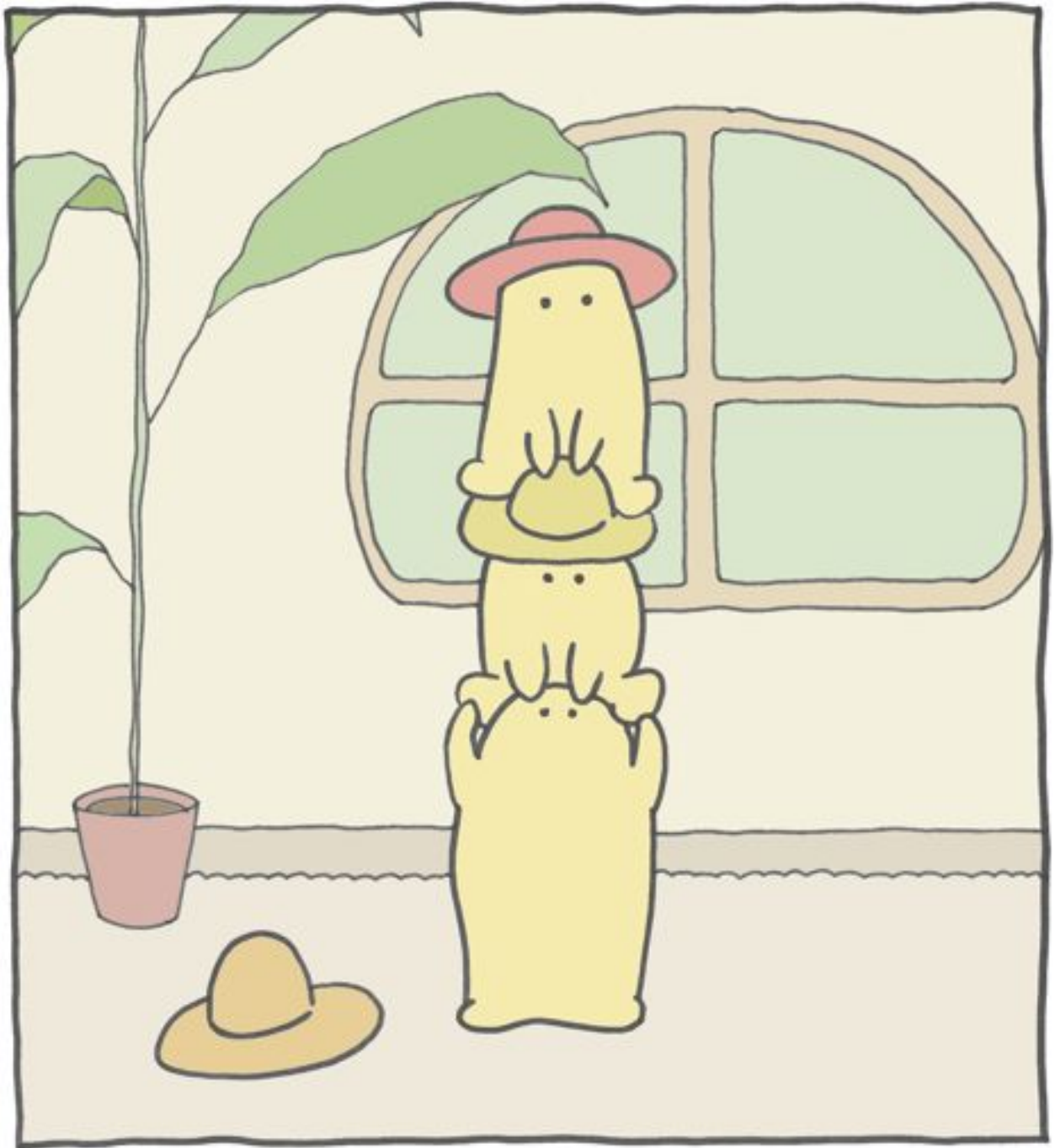
「サルは もっと せの たかかばい。」

テトの いうたっさ。

「え、ほんとね?そんなら こんくらいね?」

ゆうじんが おにいさんに かたぐるまば して
もろうたとさ。

「うんにゃ。もっとたかかばい。」

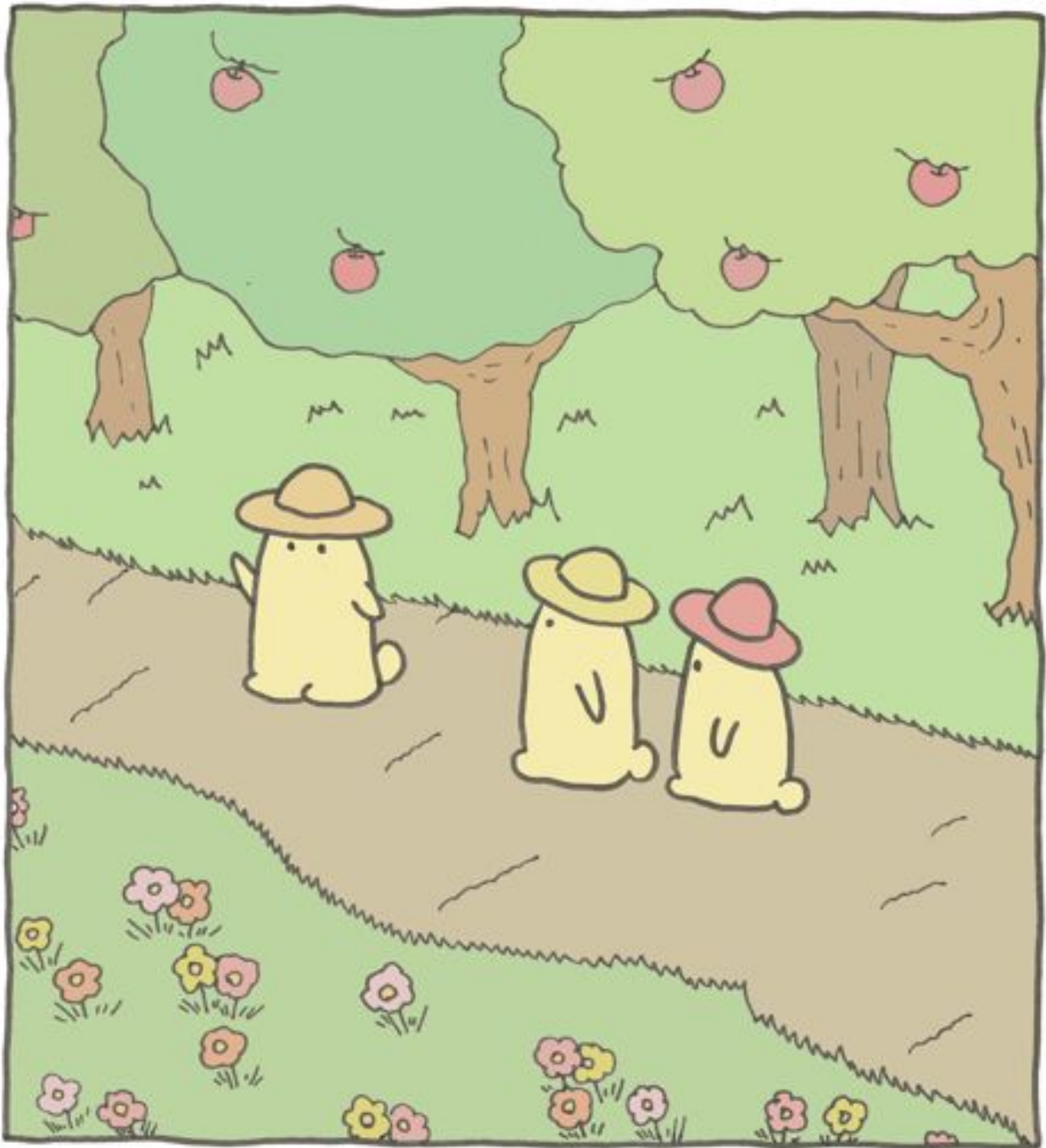


ゆうじんが テトも かたぐるま したとき。

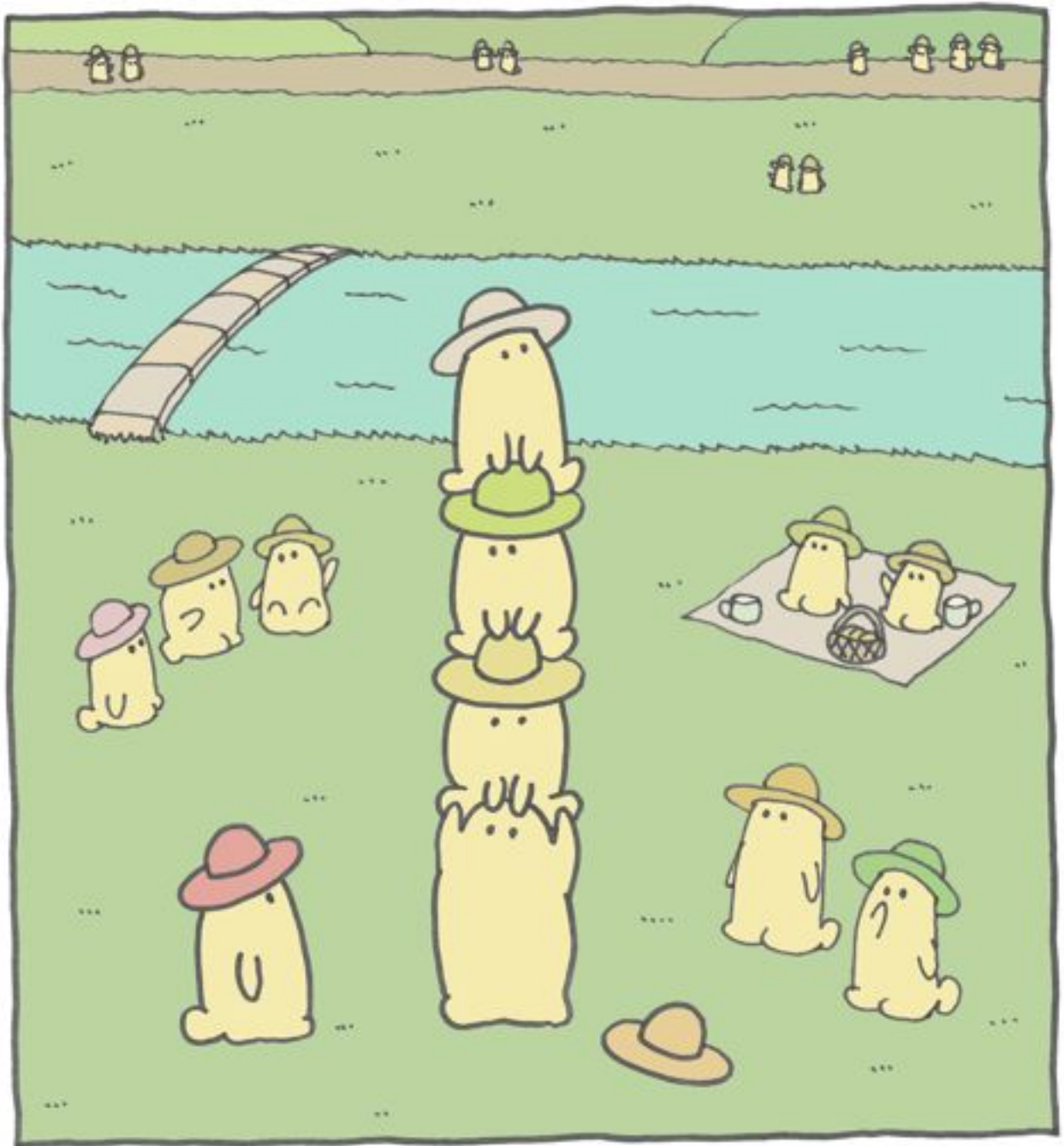
「そんなら こんくらいね？」

テトは いうたよ。

「まだばい。もっとさ。」

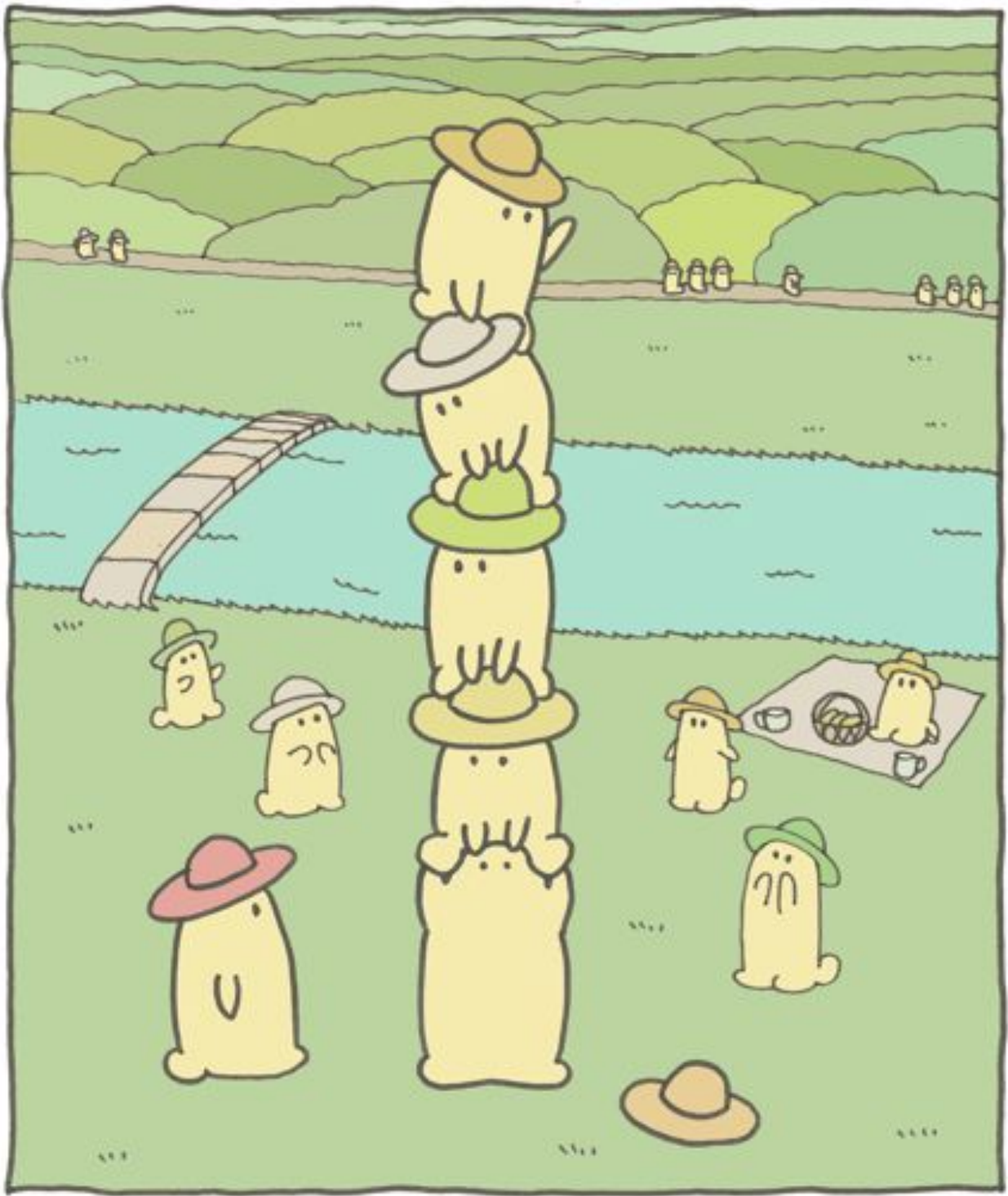


「そしたらさ もっと かたぐるまば する
テトラの いるやろ。」
ゆうじんの いうた。
「そうたいね...。」
テトが こたえて 3にんは まちに いったとき。



「そんなら こんくらい？」

「うんにゃ。」

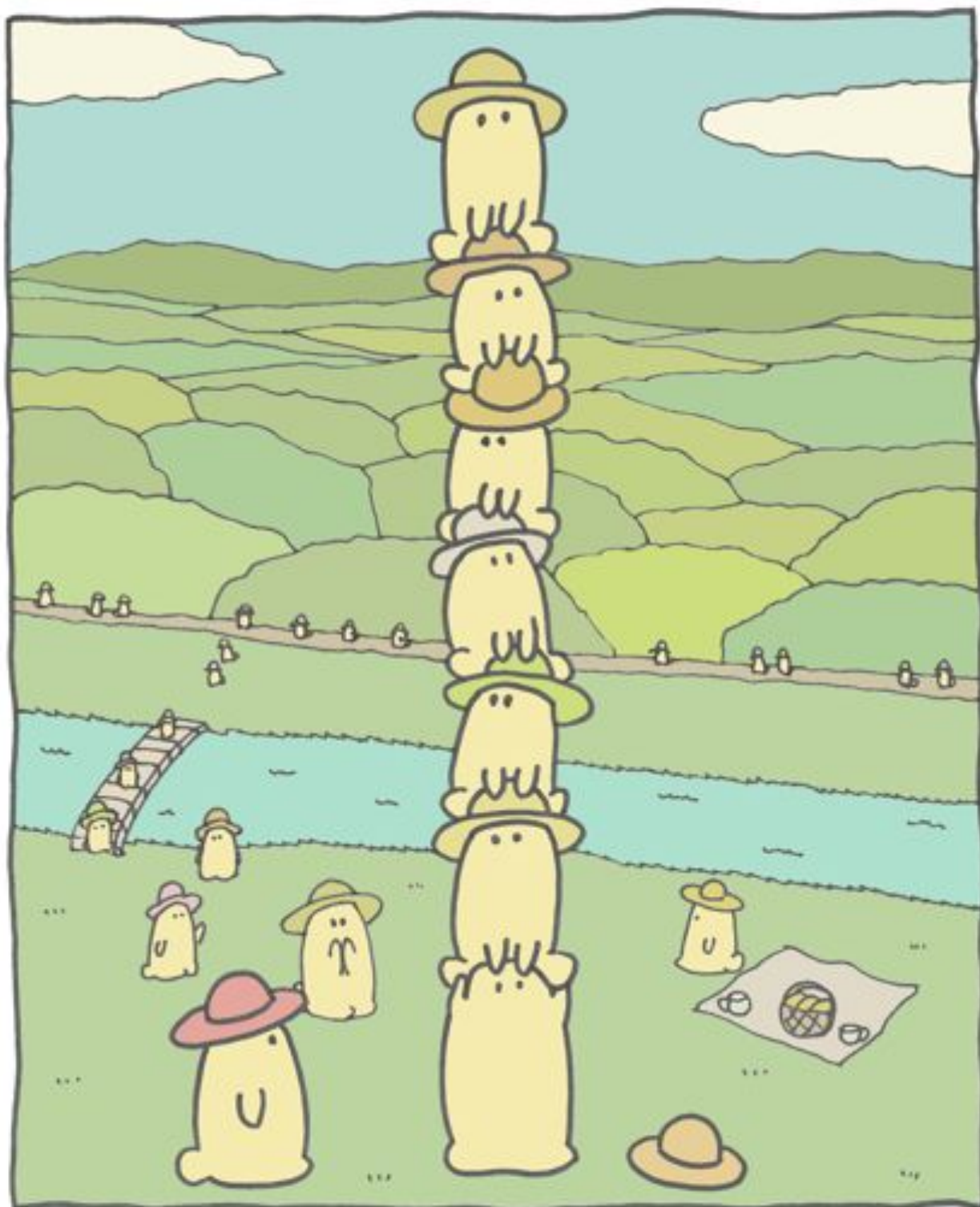


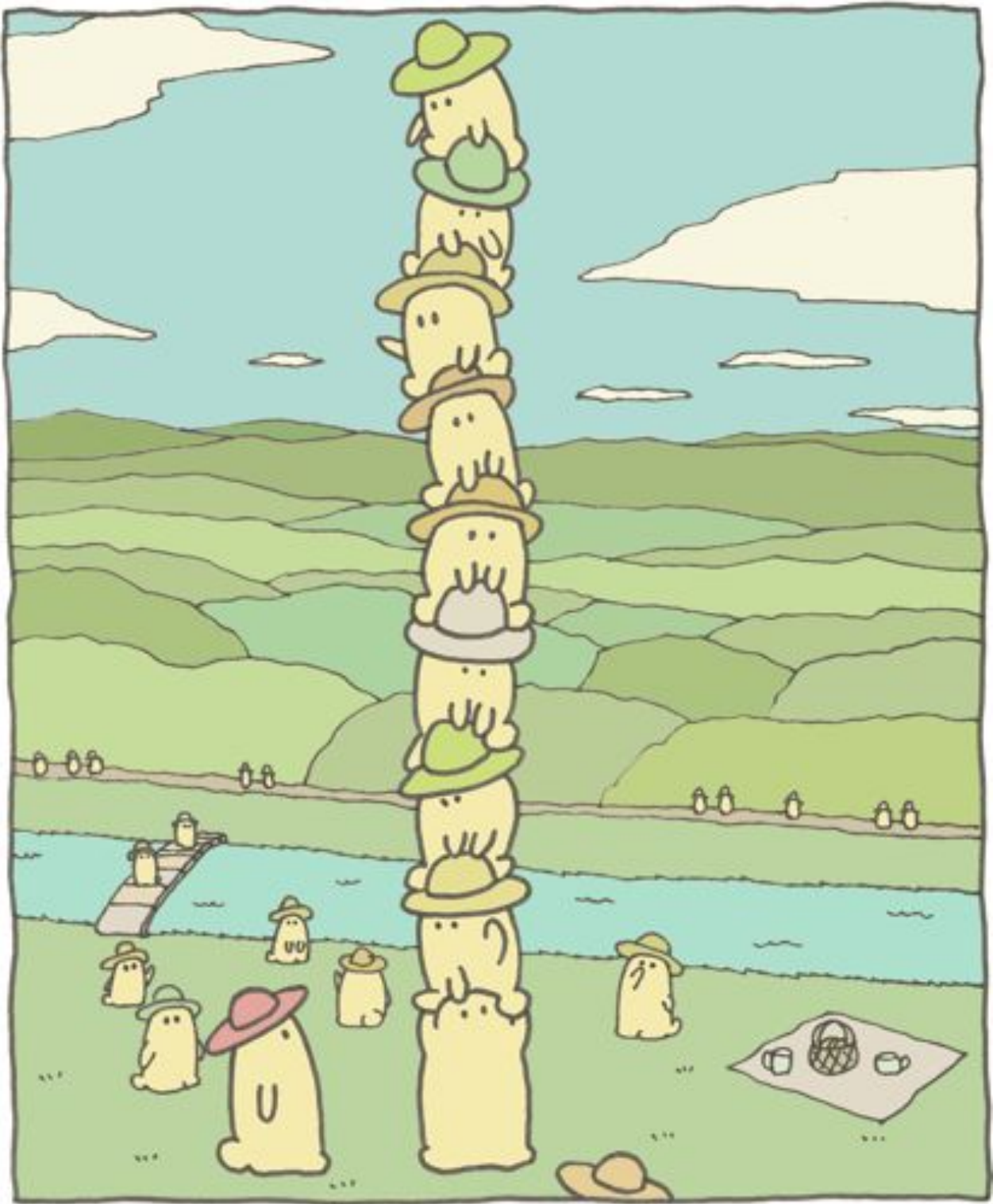
「こいで どげんね？」

「ぜんぜん たりんばい。もっと たかかと。」

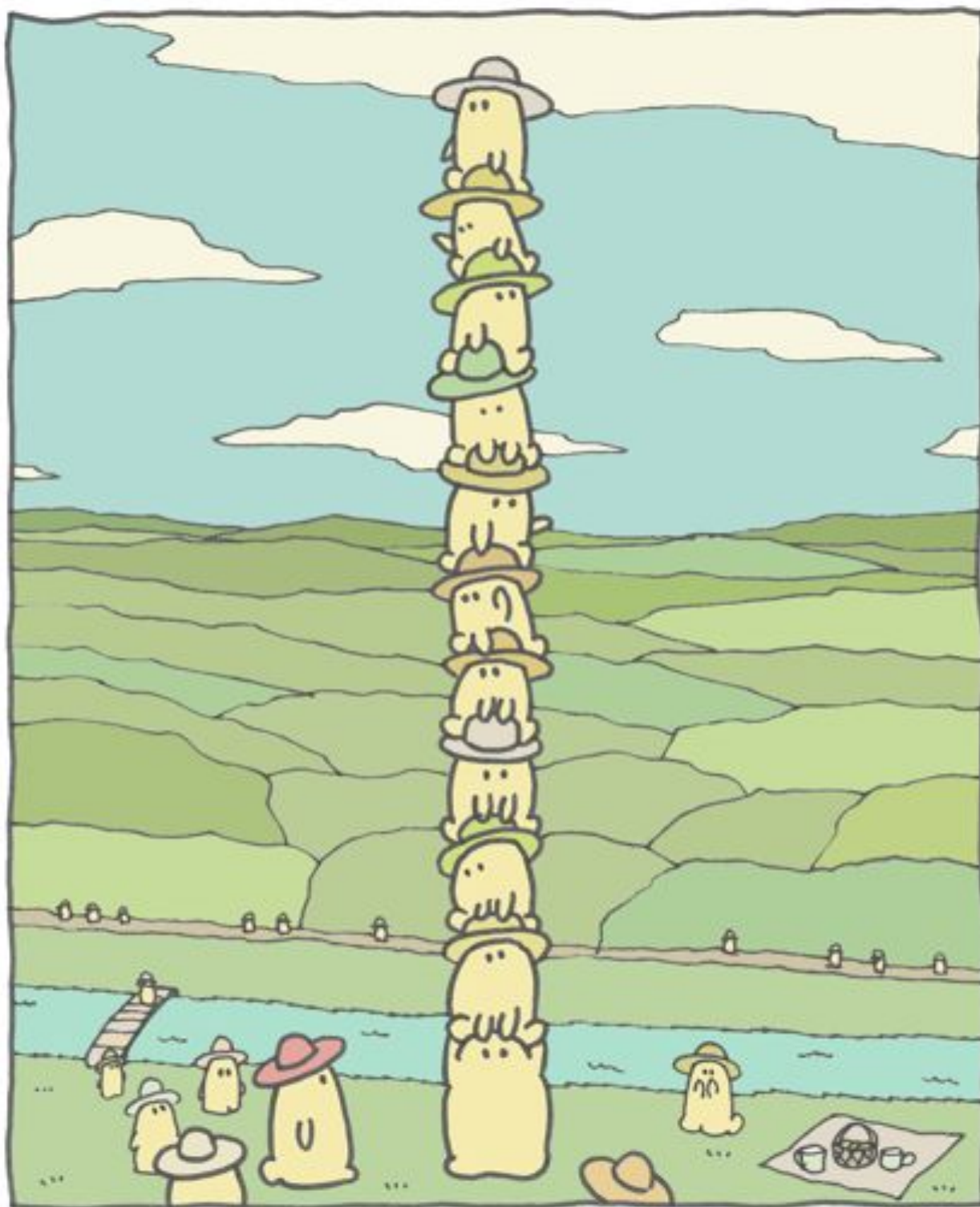
「こいじゃ？」

「うんにゃ。」



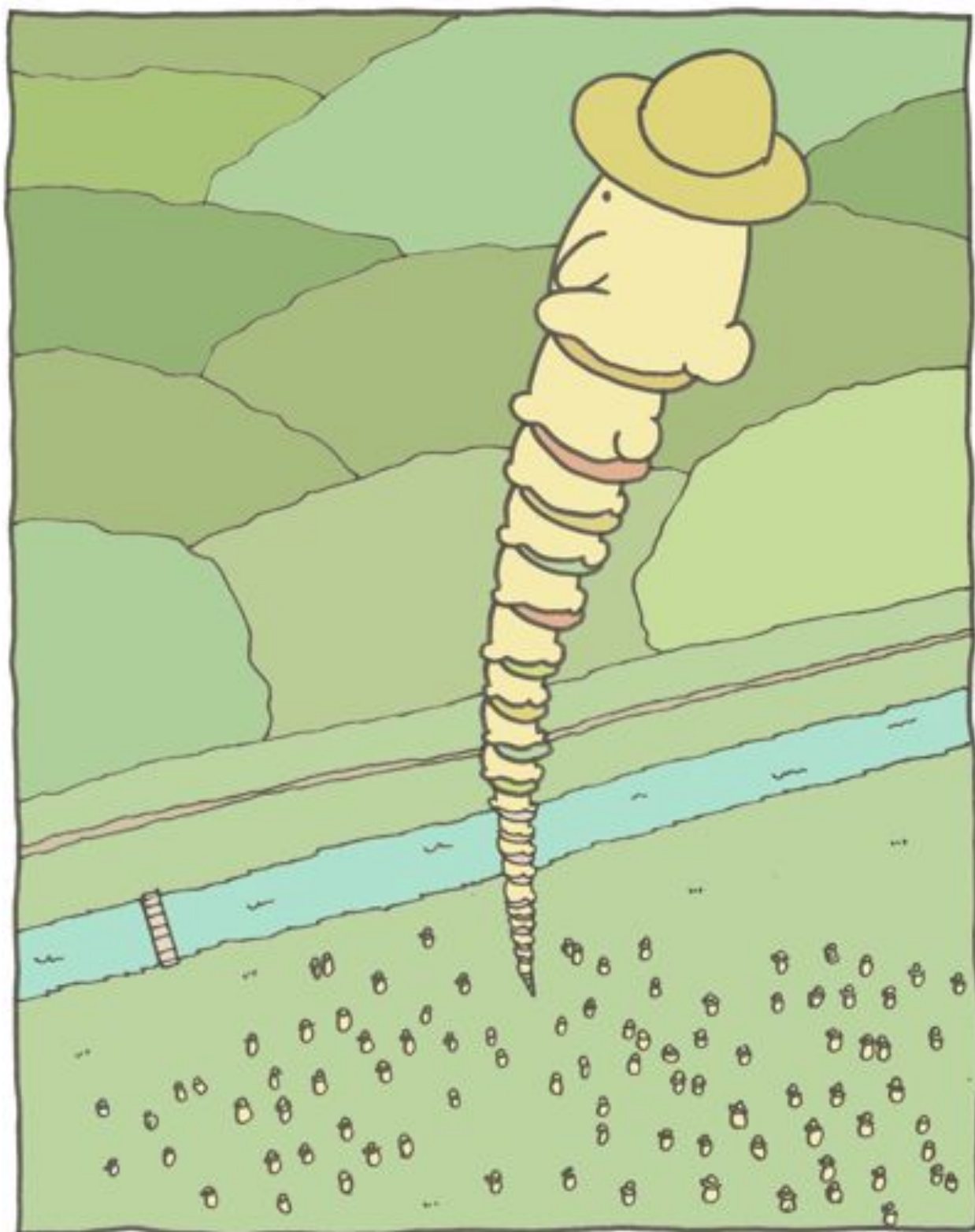


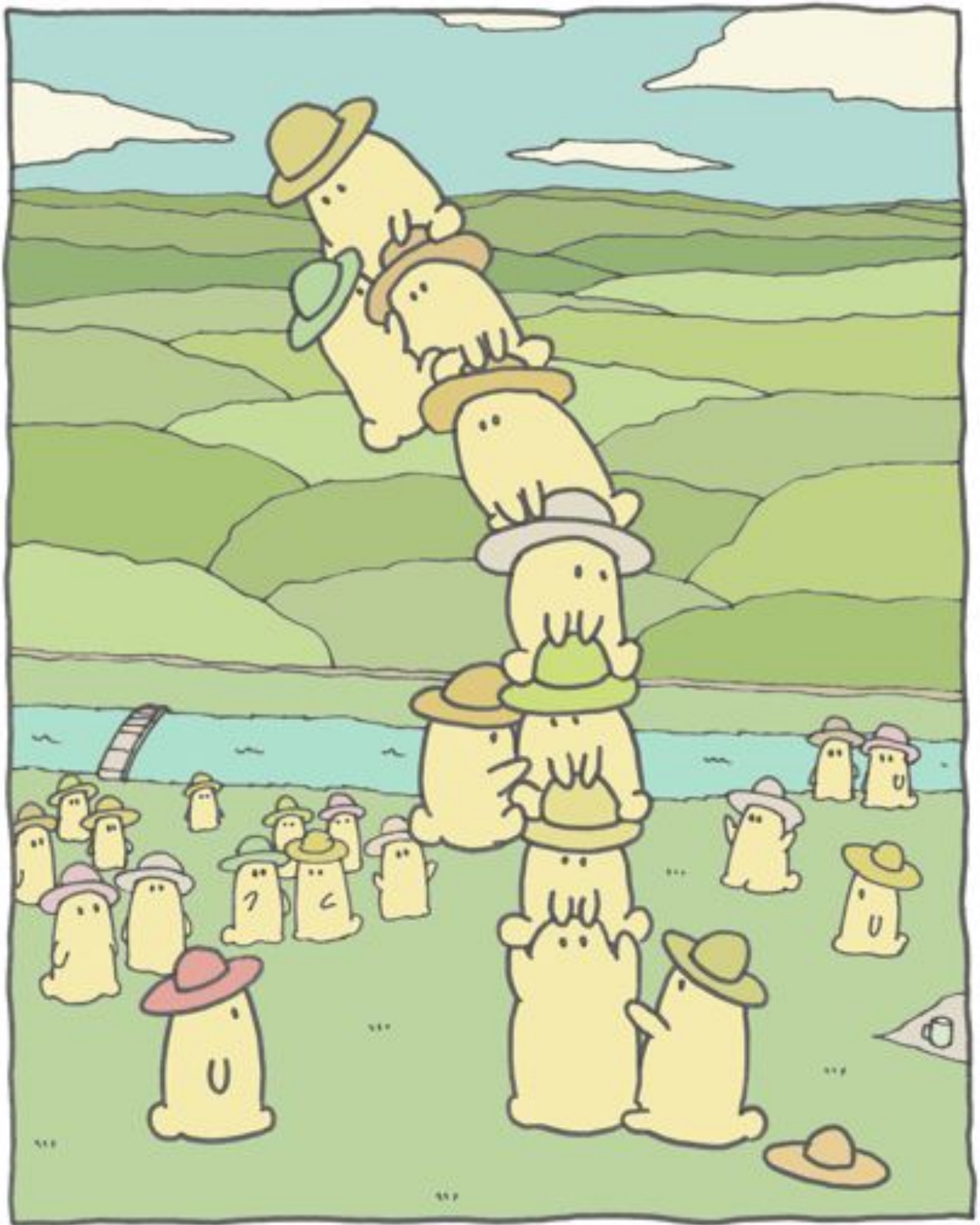
「ぜんぜん。」



「ぜんぜん。」

「ぜんぜんばい。」

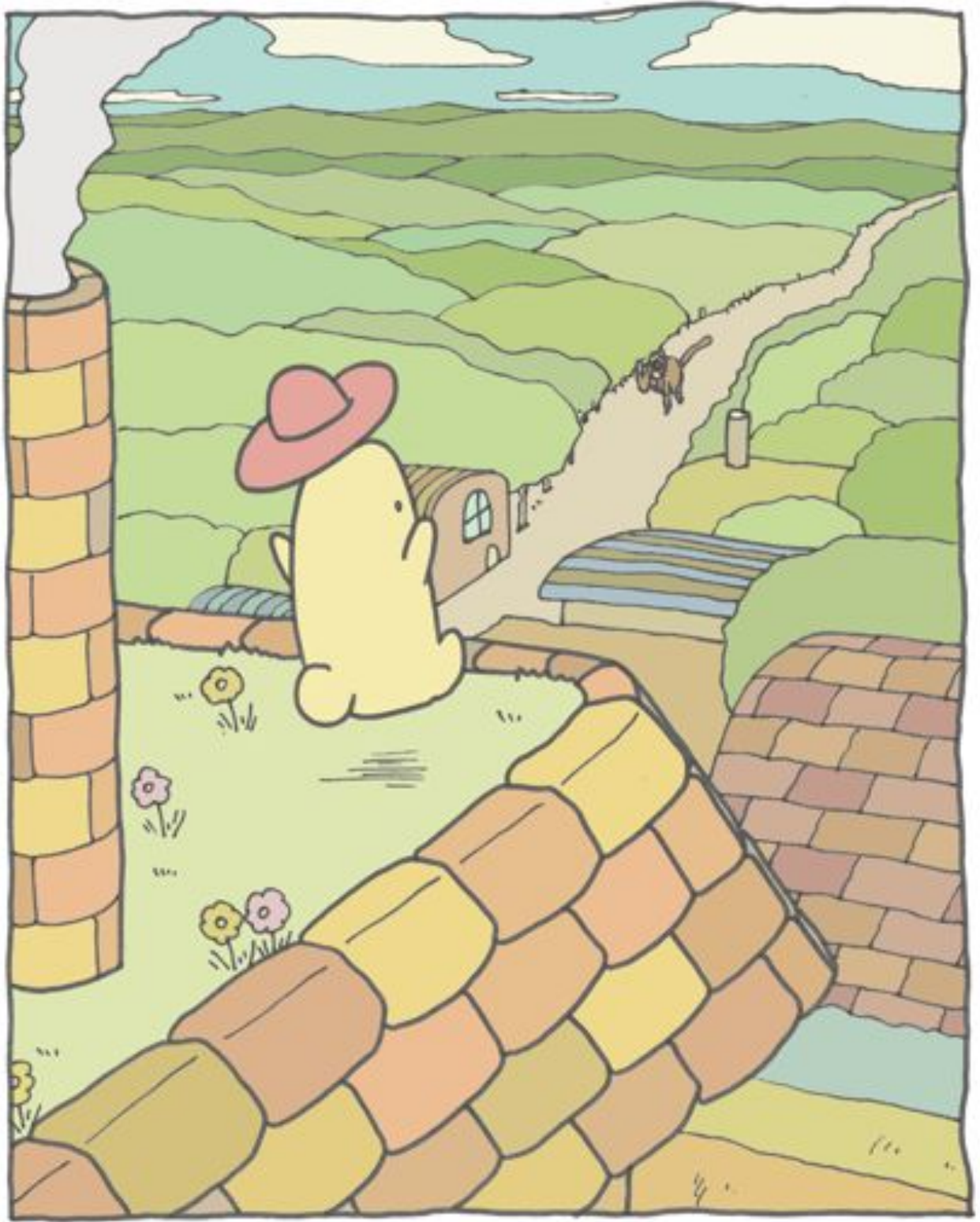




「そげんね…。」



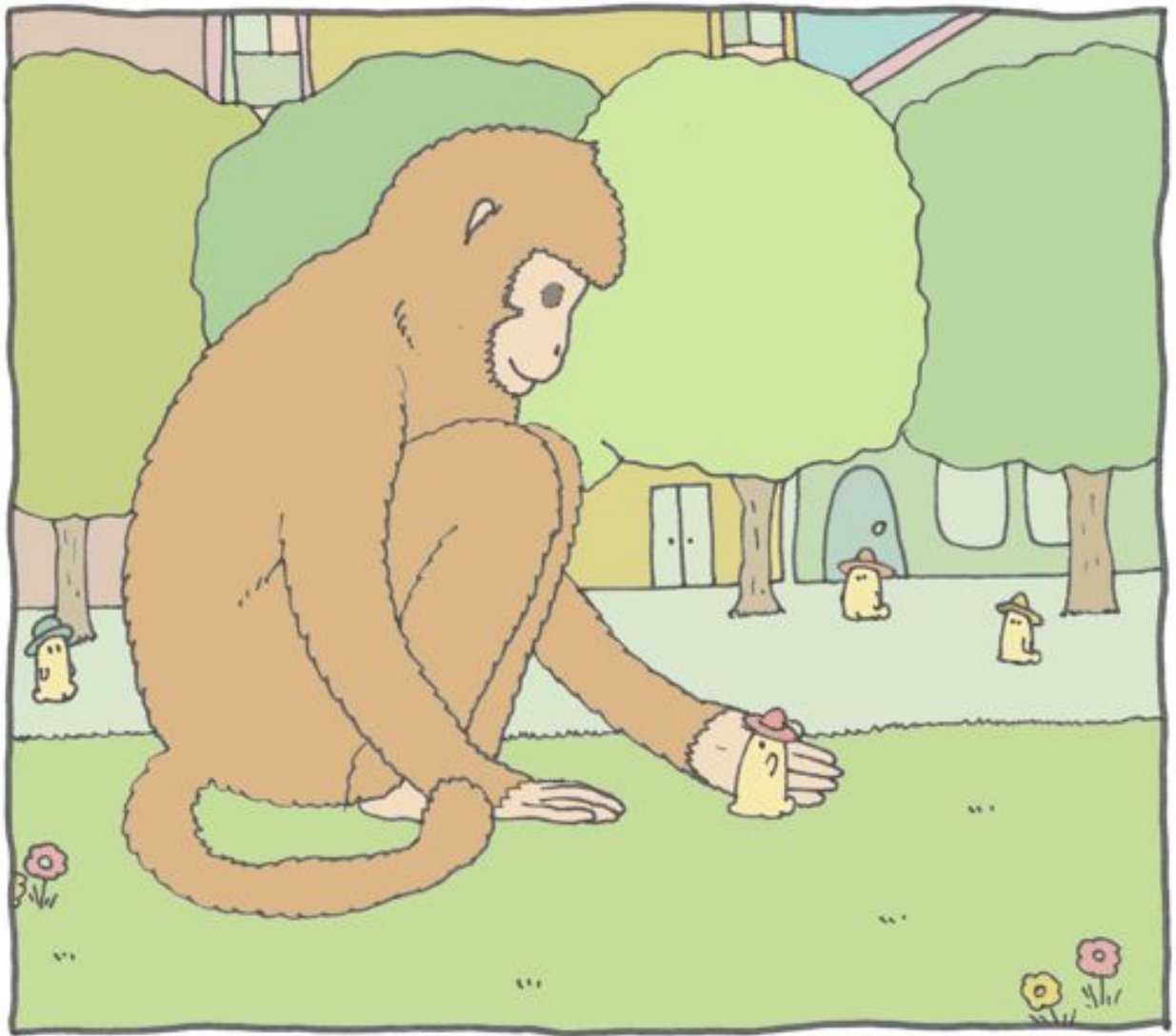
テトラたちは サルの くるひまで まつことに
したとき。



そして とうとう そのひの きたとさ!



テトラは みんな おおよろこびで サルは
かんげいしたと。



「ひさしぶり！サル、げんき やったと？」

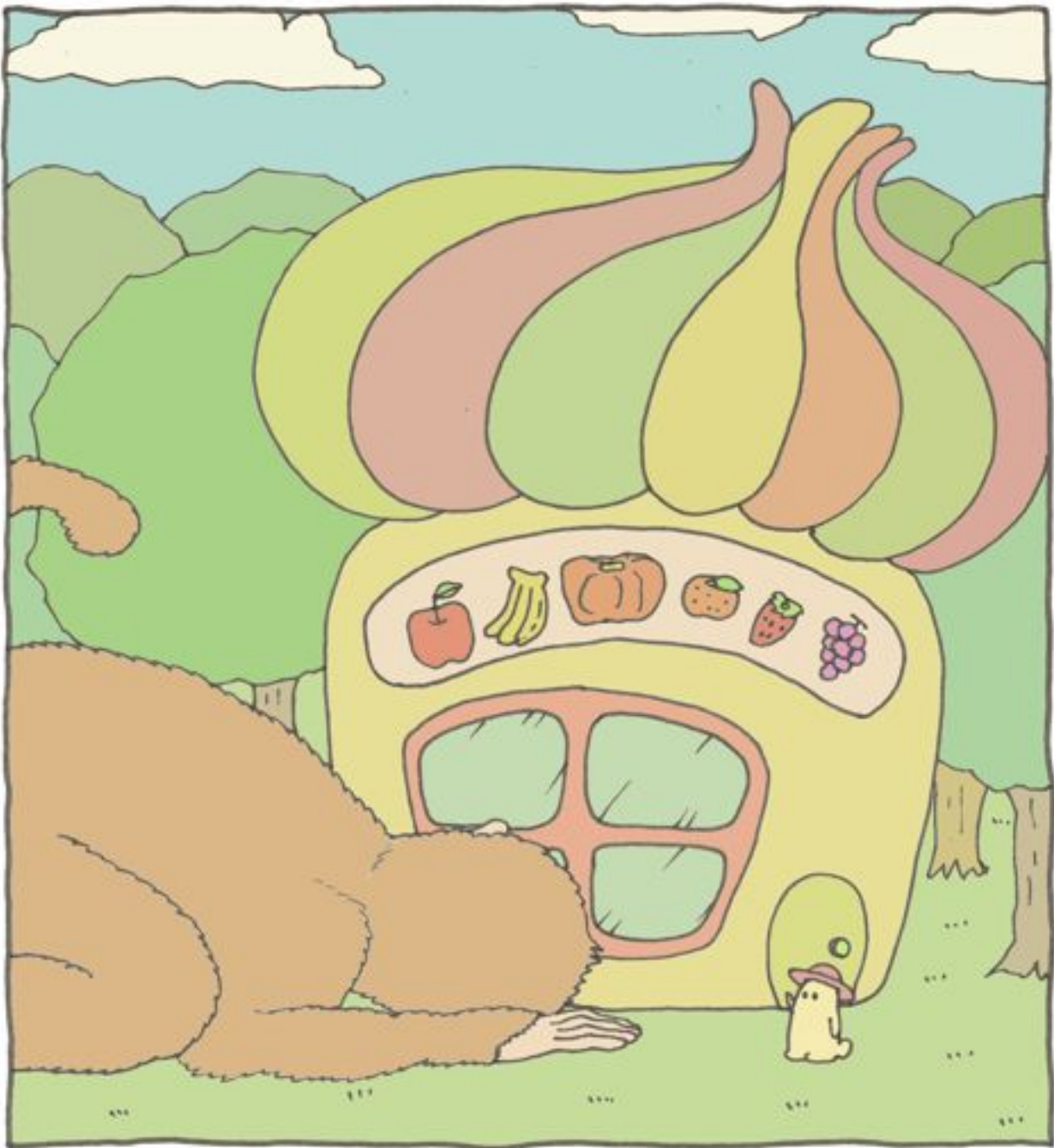
「ひさしぶり！げんきやったよ。テトは？」

「げんきやったばい！」

ふたりは ひさしぶりに おうて ものすごお
よろこんだげな。

「おいが すんどる テトラまちば あんない
するけん！」

「うん。たのむばい！」



「ここが おいが よういく やおやさんさ。」

テトが いうた。

「よかねえ! やさいも くだものも ものすごお
しんせんかねえ!」

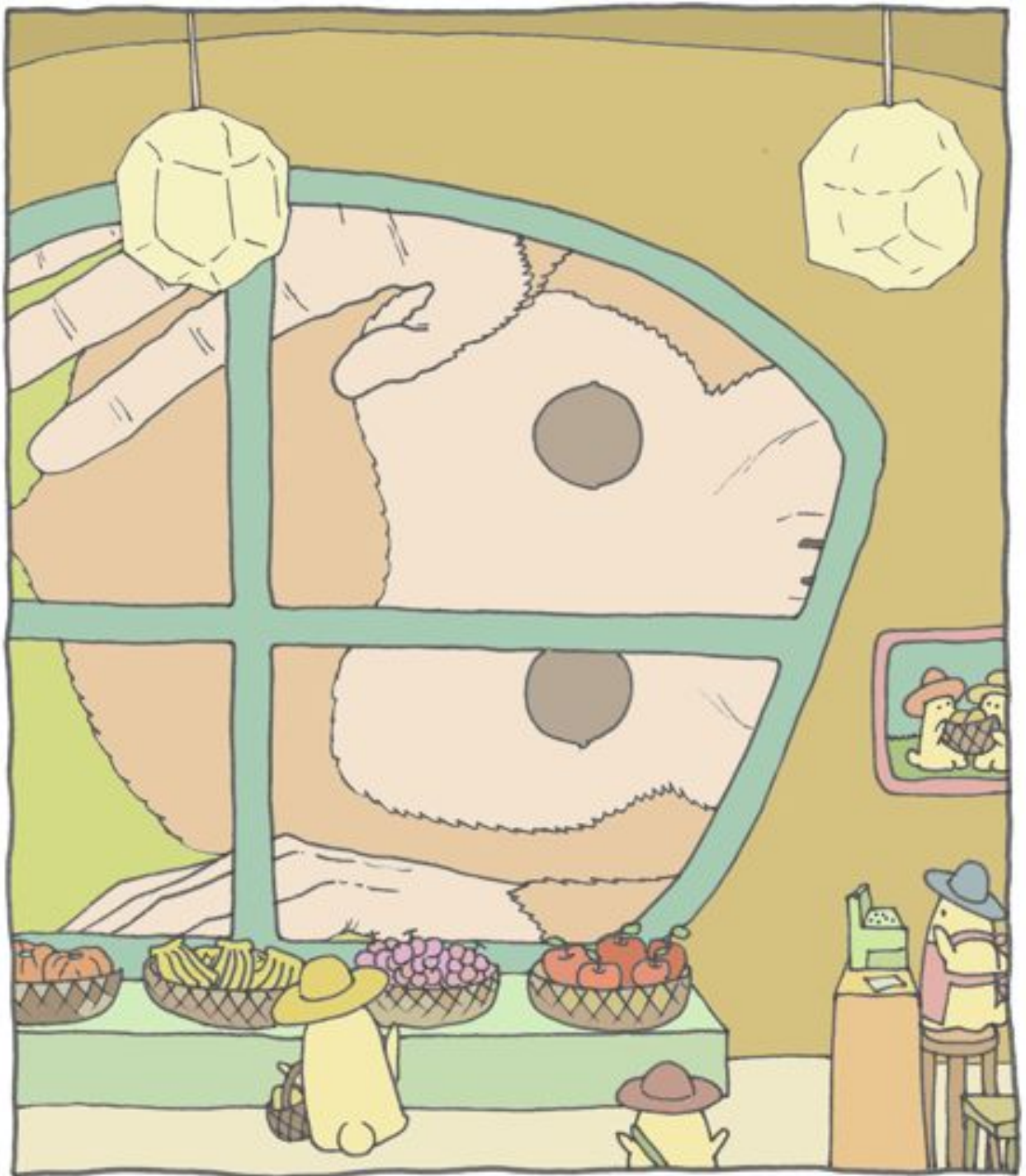
サルが いうた。

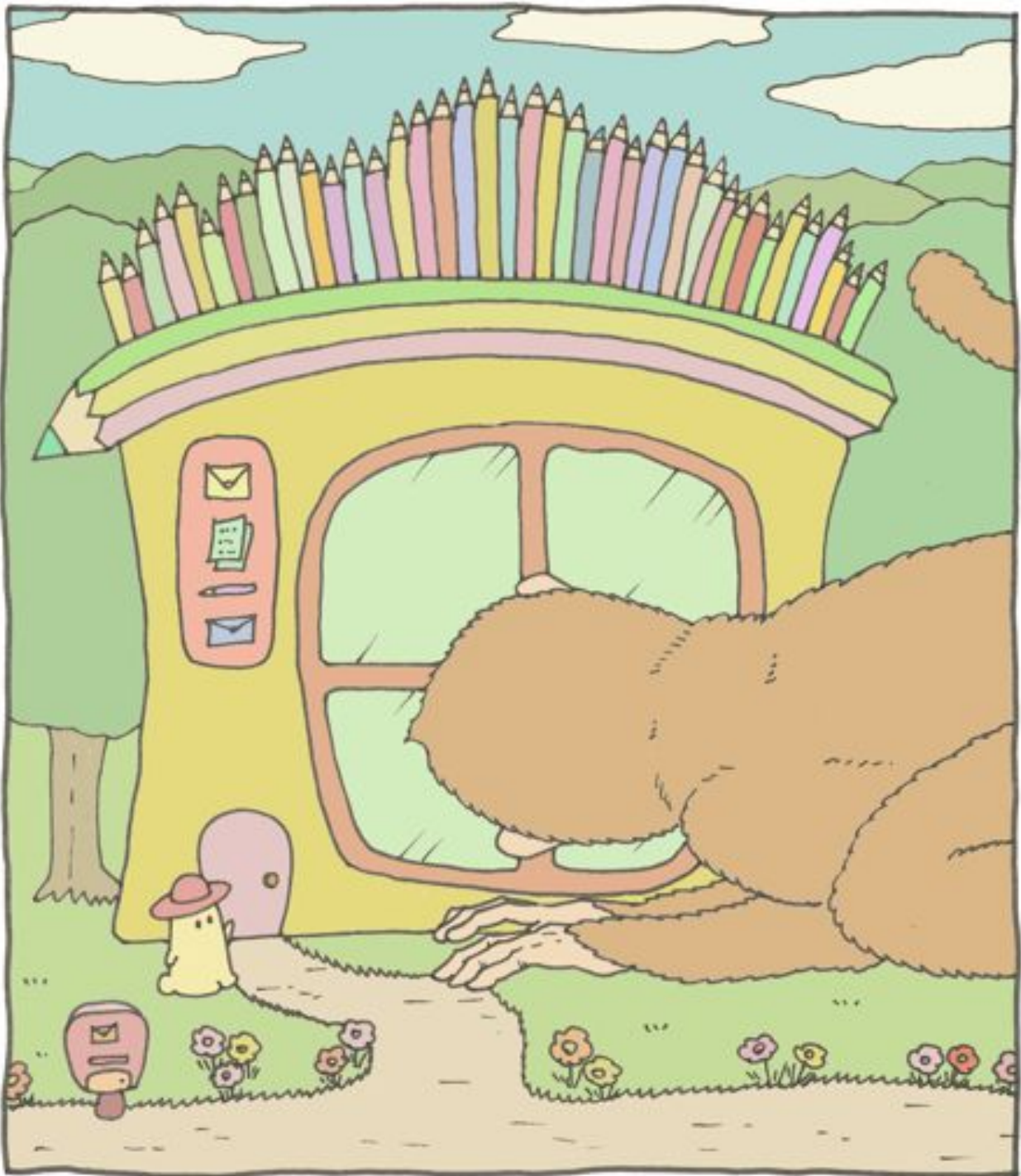
「こんにちわ！」

サルが やおやさんに おる みんなに あいさつ
したとさ。

「こんにちわ！」

やおやさんに おる みんなも サルに あいさつ
したとよ。





「ここが おいが わいに てがみば だすときに
つかう ゆうびんきょくさ！」

テトが いうた。

「よかねえ！ みどりの いっぱいたい！ よかあ！」

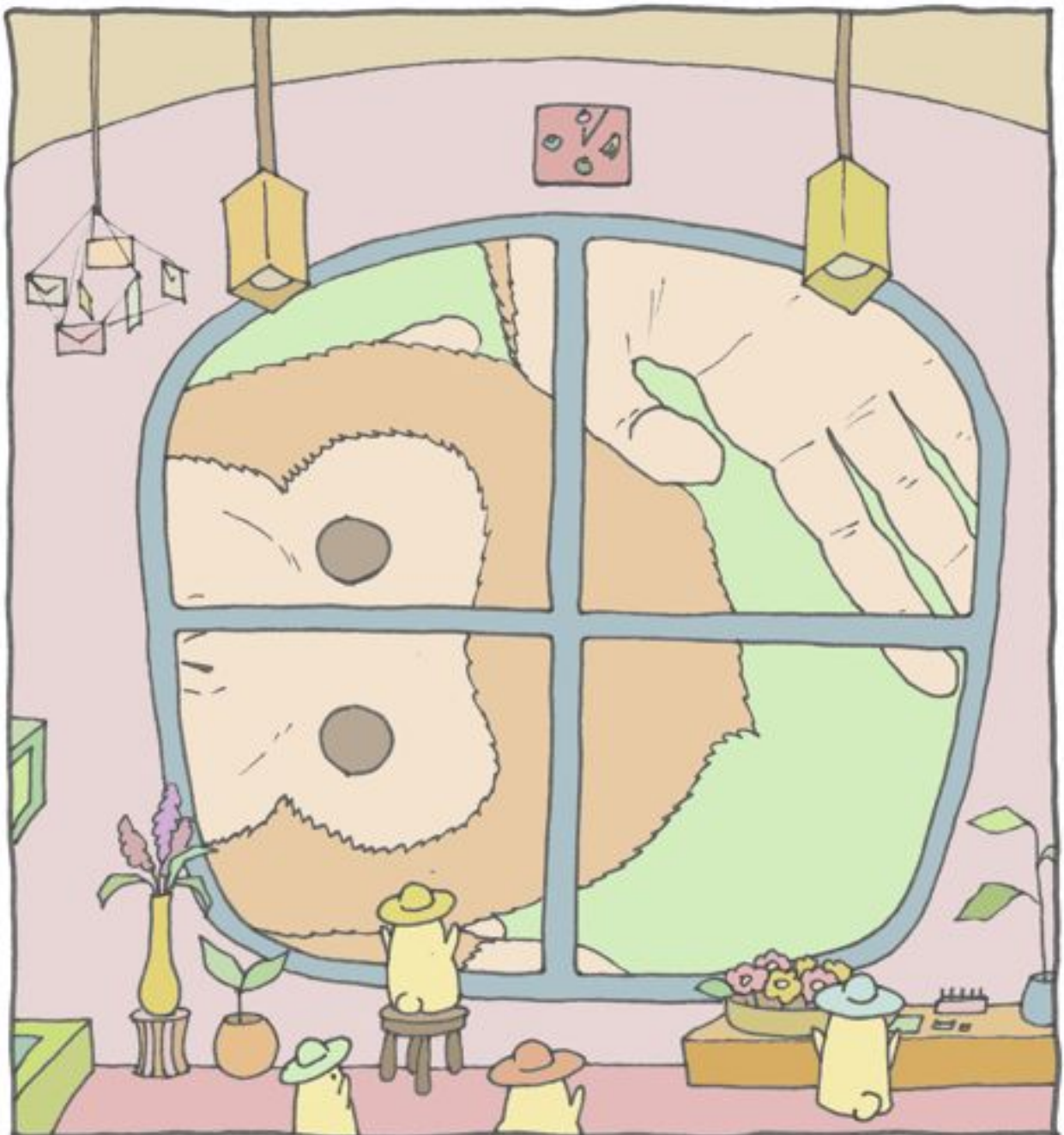
サルが いうた。

「こんにちわ！」

サルは ゆうびんきょくにおる みんなに
あいさつば したとさ。

「こんにちわ！」

ゆうびんきょくにおる みんなも サルに
あいさつば したと。





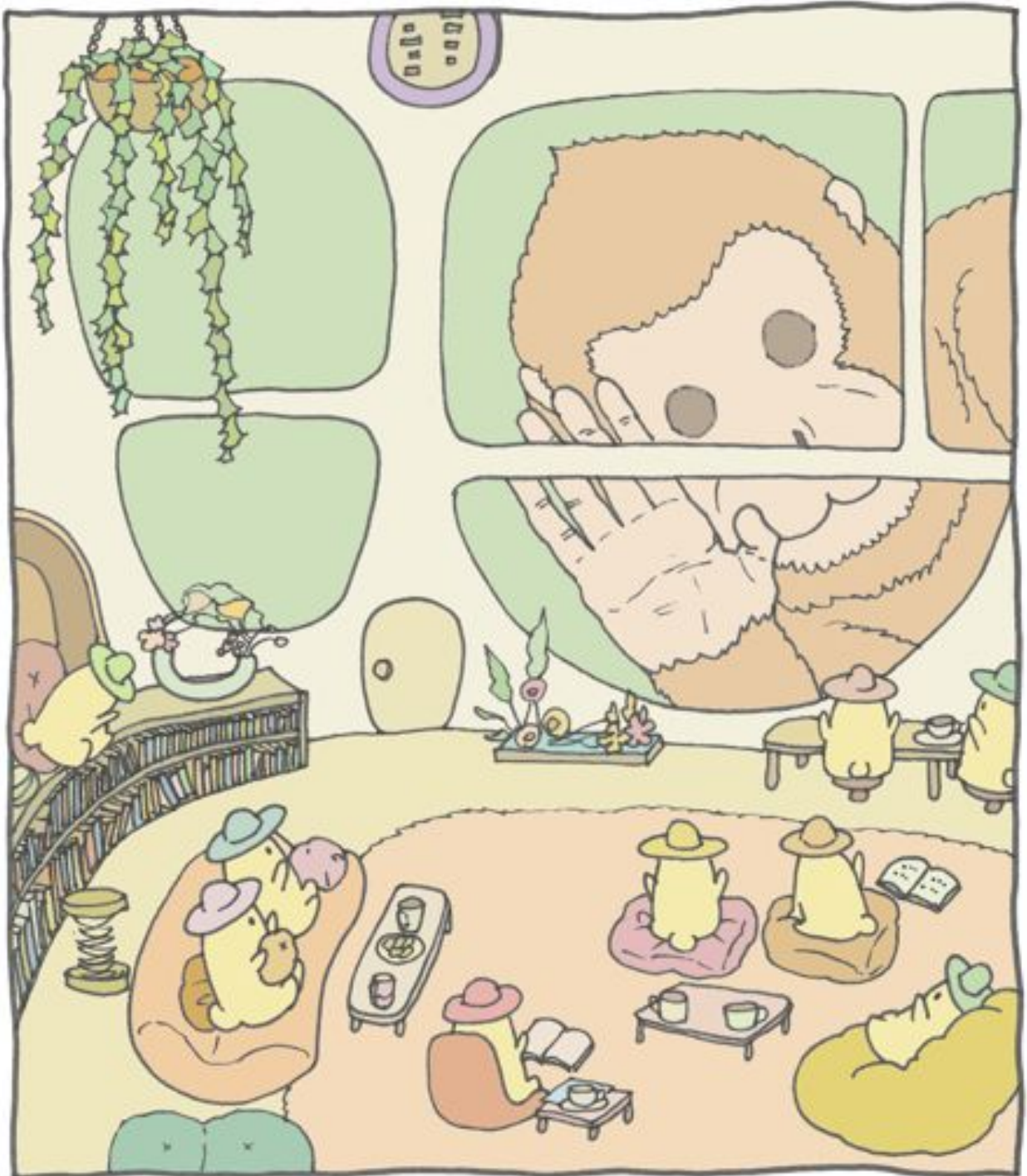
「ここが おいの おきにいりの きっさてんさ。
おいしか こうちゃと フカフカの ソファーの
あつて ゆっくり できるとばい!」
テトが いうたと。
「よかねえ! こうちゃの よか かおりの するね!
スコーンも おいしかごたっ!」
サルが いうた。

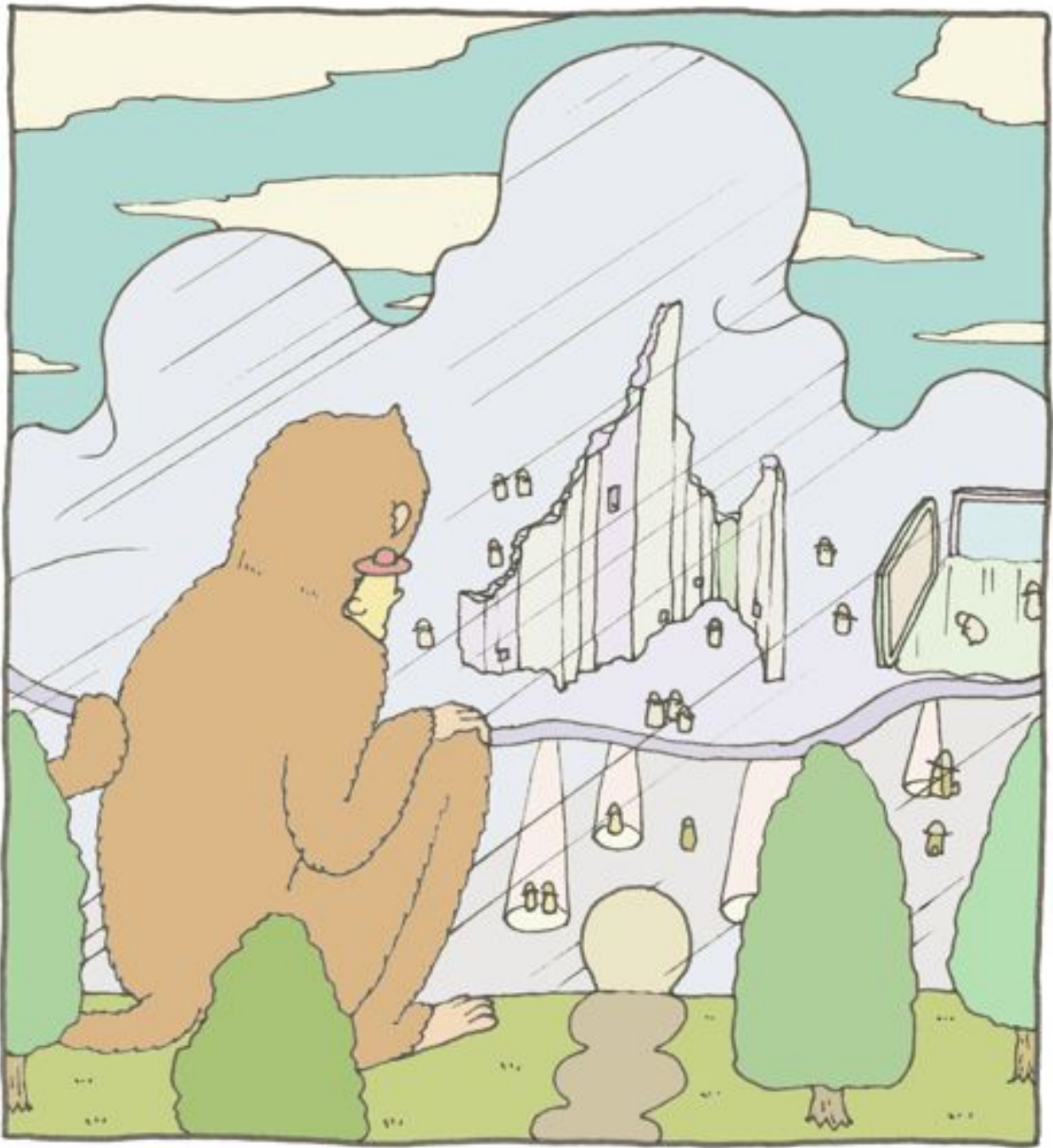
「こんにちわ！」

サルは きっさてんに おる みんなに あいさつ
したとき。

「こんにちわ！」

きっさてんに おる みんなも サルに あいさつ
したとよ。





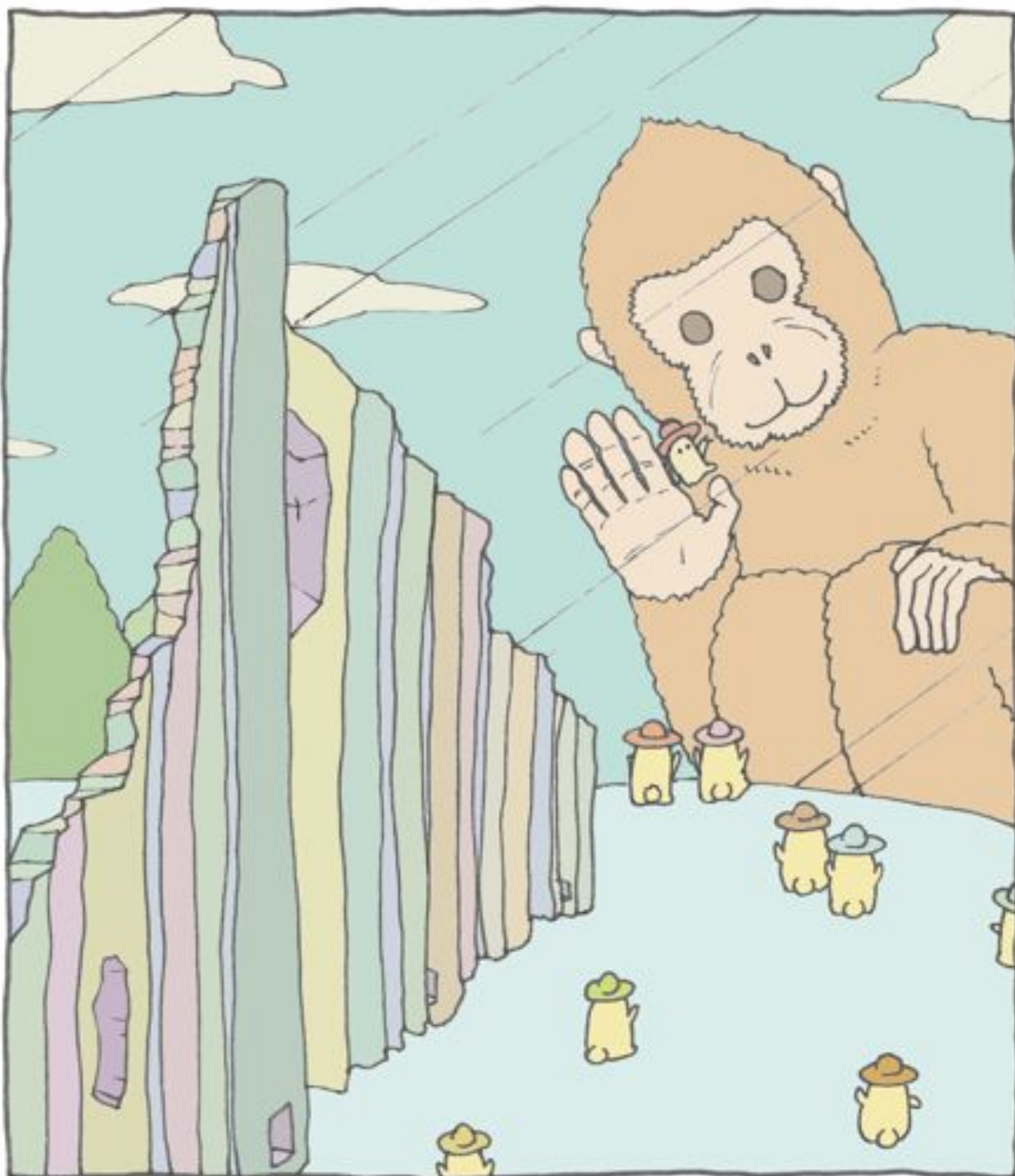
「ここが おいの すいとる コンテンポラリー
アートの みらるっ びじゅつかんさ! ガラスで
できとっ とよ! 」

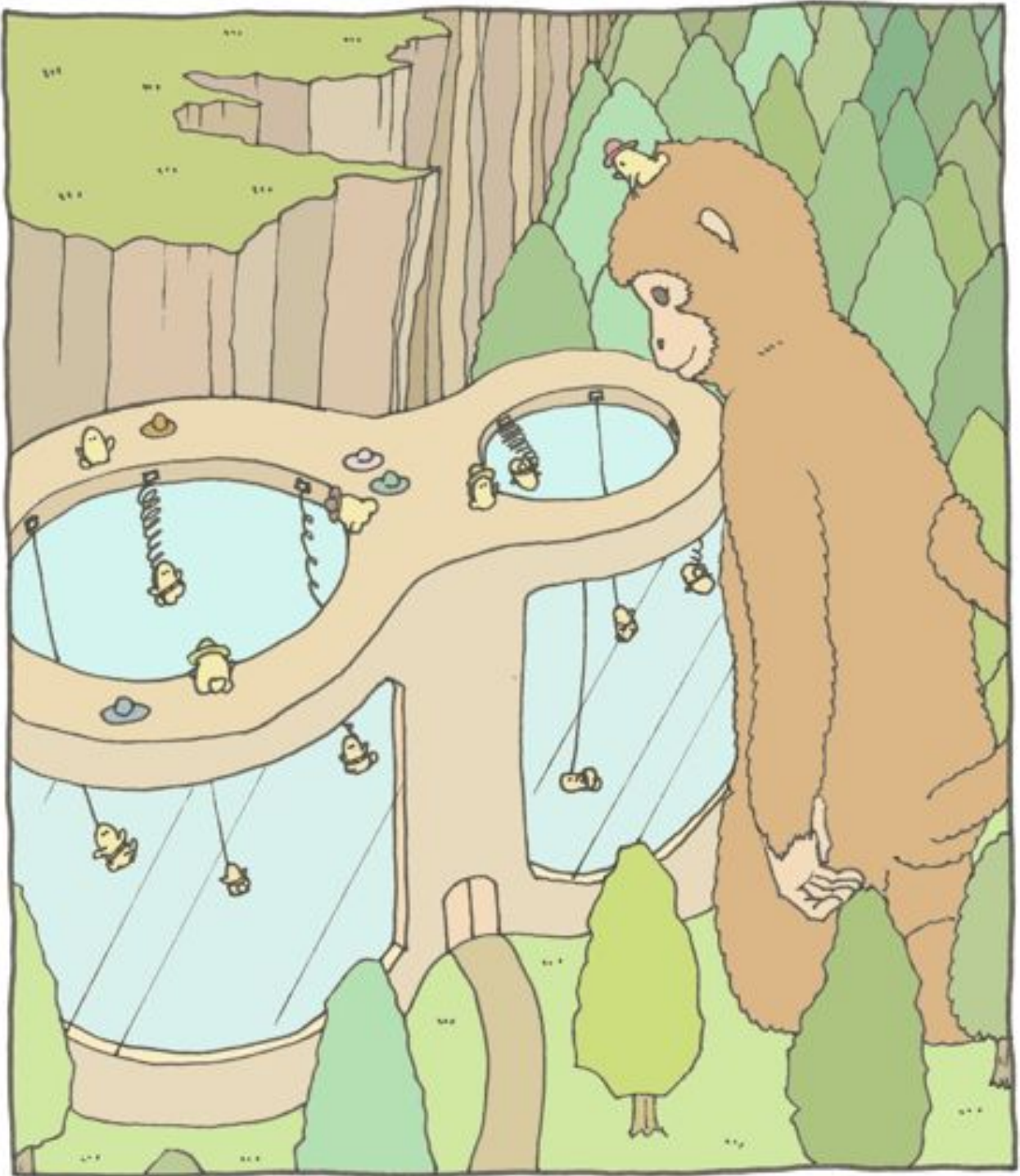
テトが いうたと。

「よかねえ! こげん たてもの みたこと なかよ!
すごく よか さくひんの いっはい あるね! 」
サルは いうたと。

「こんにちわ!」サルが びじゅつかんに おる
みんなに あいさつば したと。

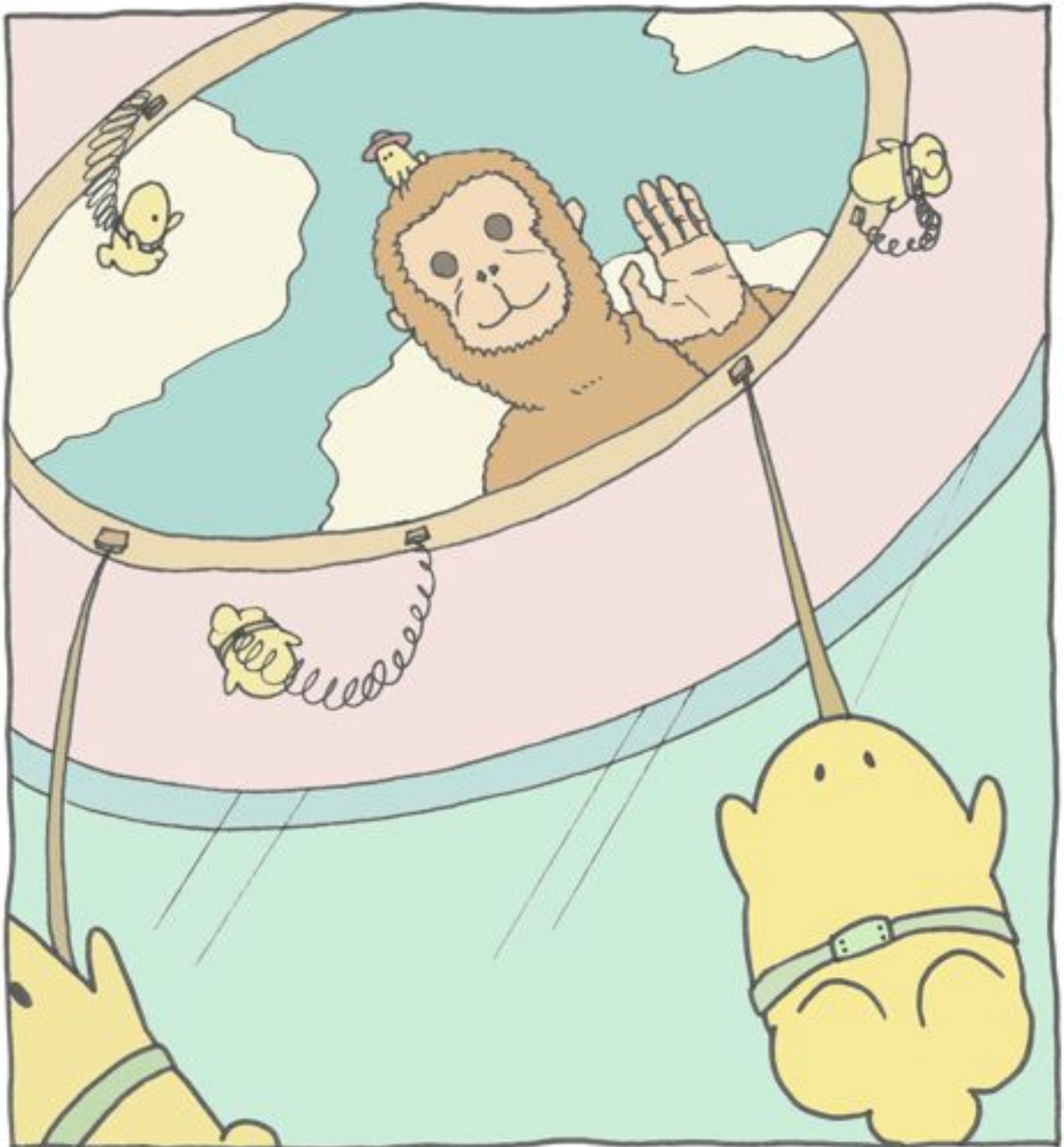
「こんにちわ、サル!」びじゅつかんに おる
みんなも サルにあいさつば したとさ。





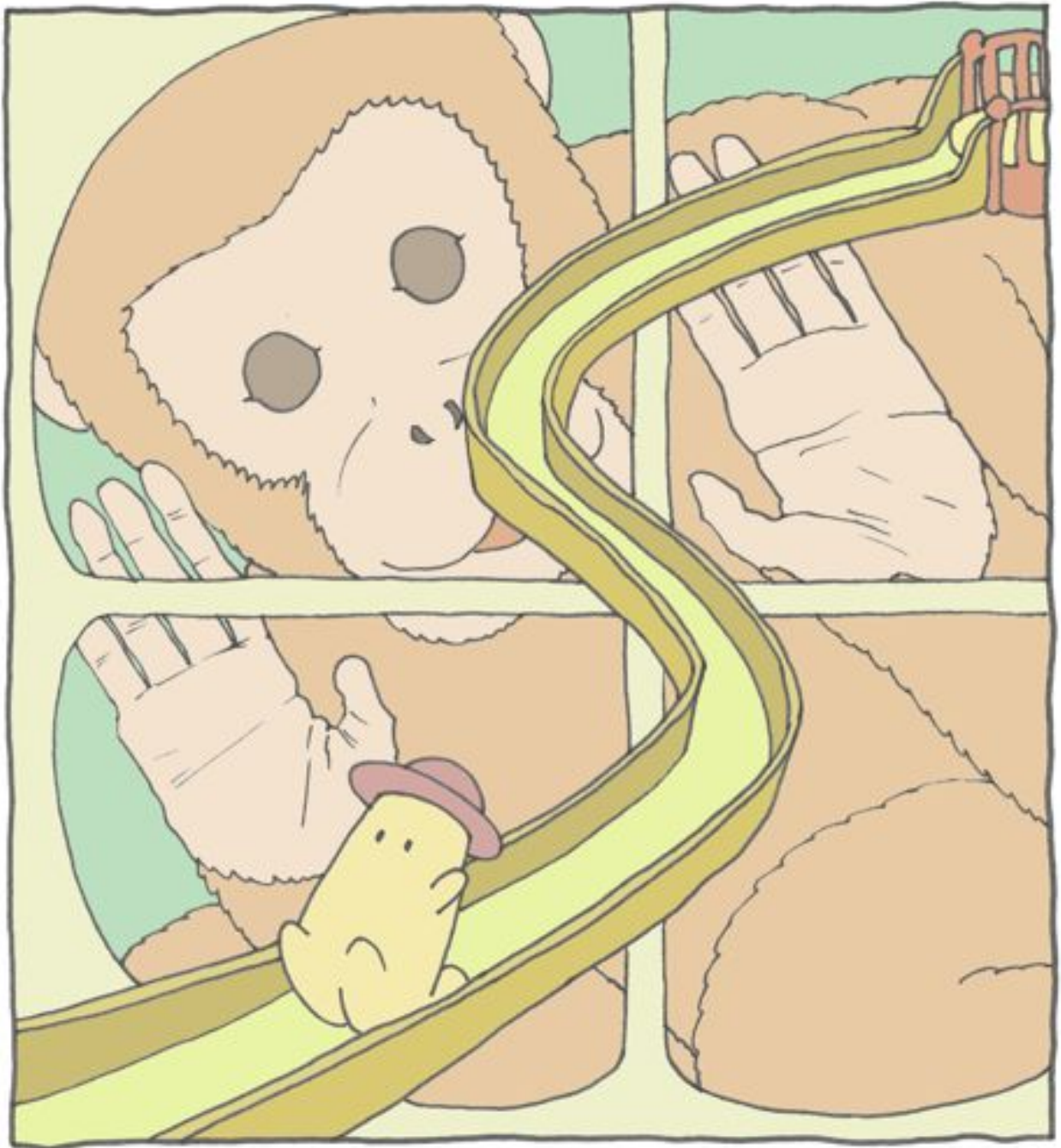
「ここが おいが よおいく バンジー ジャンプ
けんきゅうじょ さね!」
テトが いうたら。
「よかねえ!けんきゅう しよっと?」
サルが いうた。
「うん!しよっと。」

「こんにちわ！」で サルの いうたら。
「うわー！」「きゃー！」
バンジージャンプの おそろしーして あいさつば
したかばってん できん テトラの おったとさ。
「サル、こんにちわー！」
バンジージャンプは しよっても あいさつば
しーきる テトラも おったとよ。





「そいで　ここが　おいの　いえばい!なつは
すずしかとよ。ふゆは　ぬっかし　すみやすかと!」
テトが　いうたと。
「わあ!よかところねえ!きれか　にわも　あるやかね!」
サルの　いうた。



「この すべりだいで まいにち あそんどっと！
わいに だした てがみにも かいたことの
あったろ？」

テトが いうた。

「こいが わいが いいよった すべりだいいね！
よかねえ！ はよう すべれるとねえ！」

サルの いうたげな。



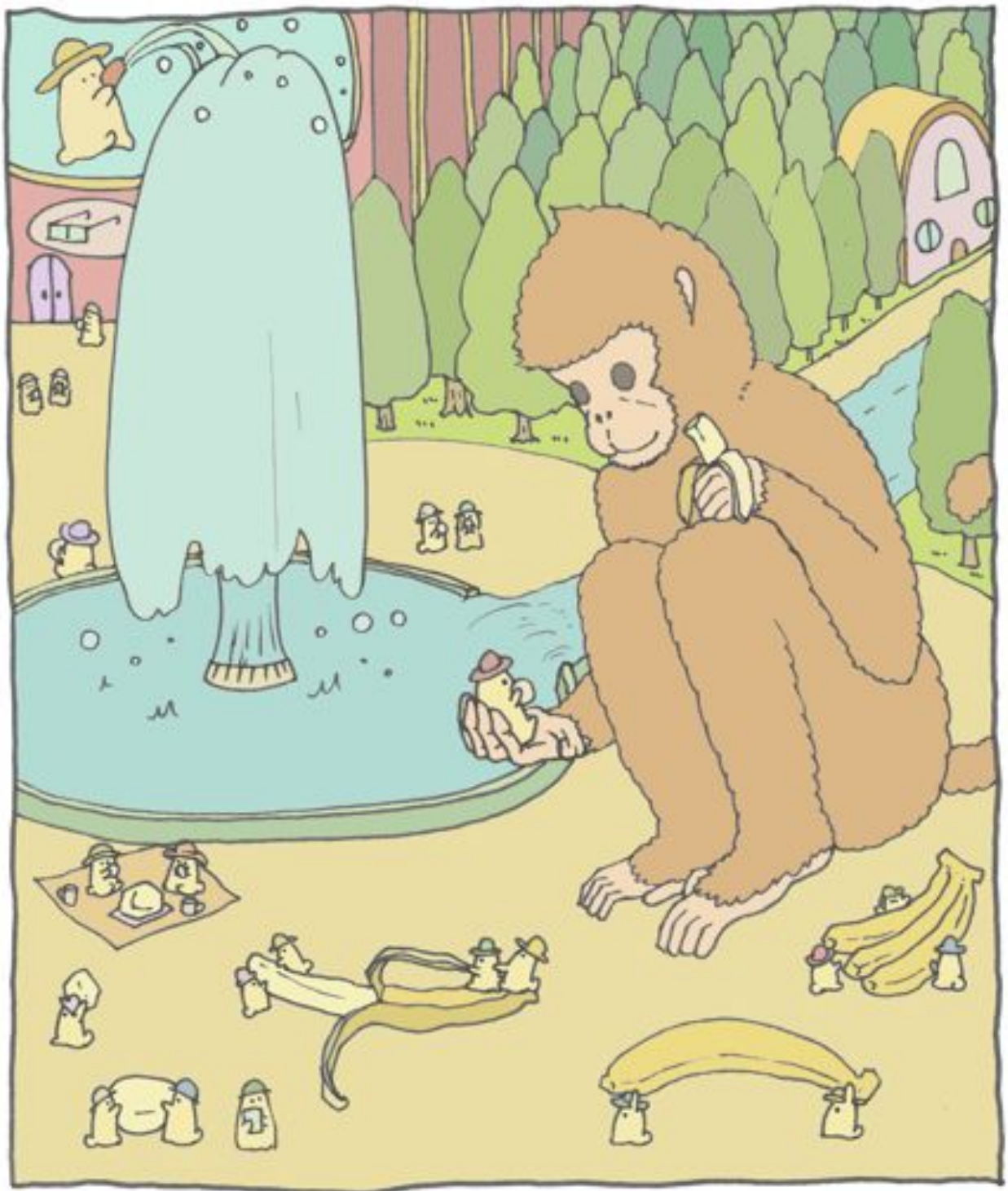
「ここが テトラひろばって いうて まちの
ちゅうしんさ。」

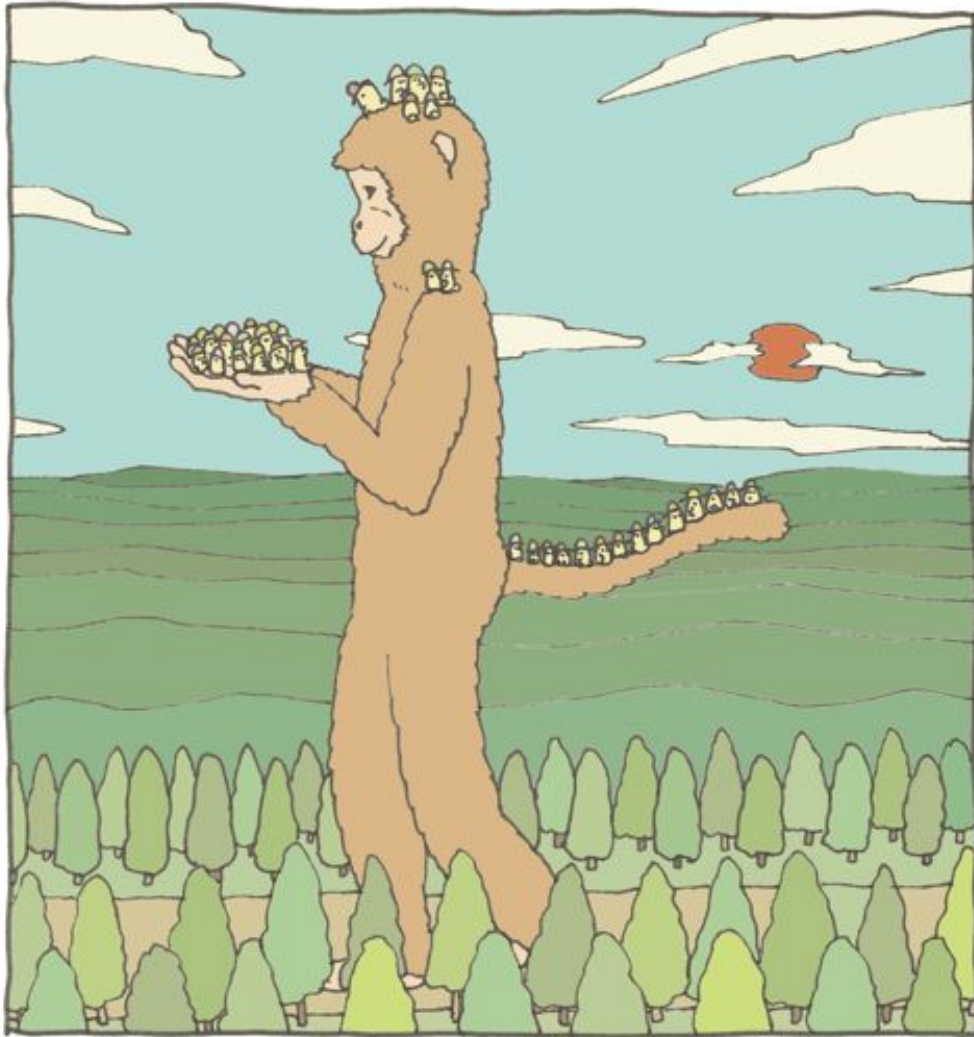
テトが いうた。

「よかねえ!よかところに すんどっとねえ!」

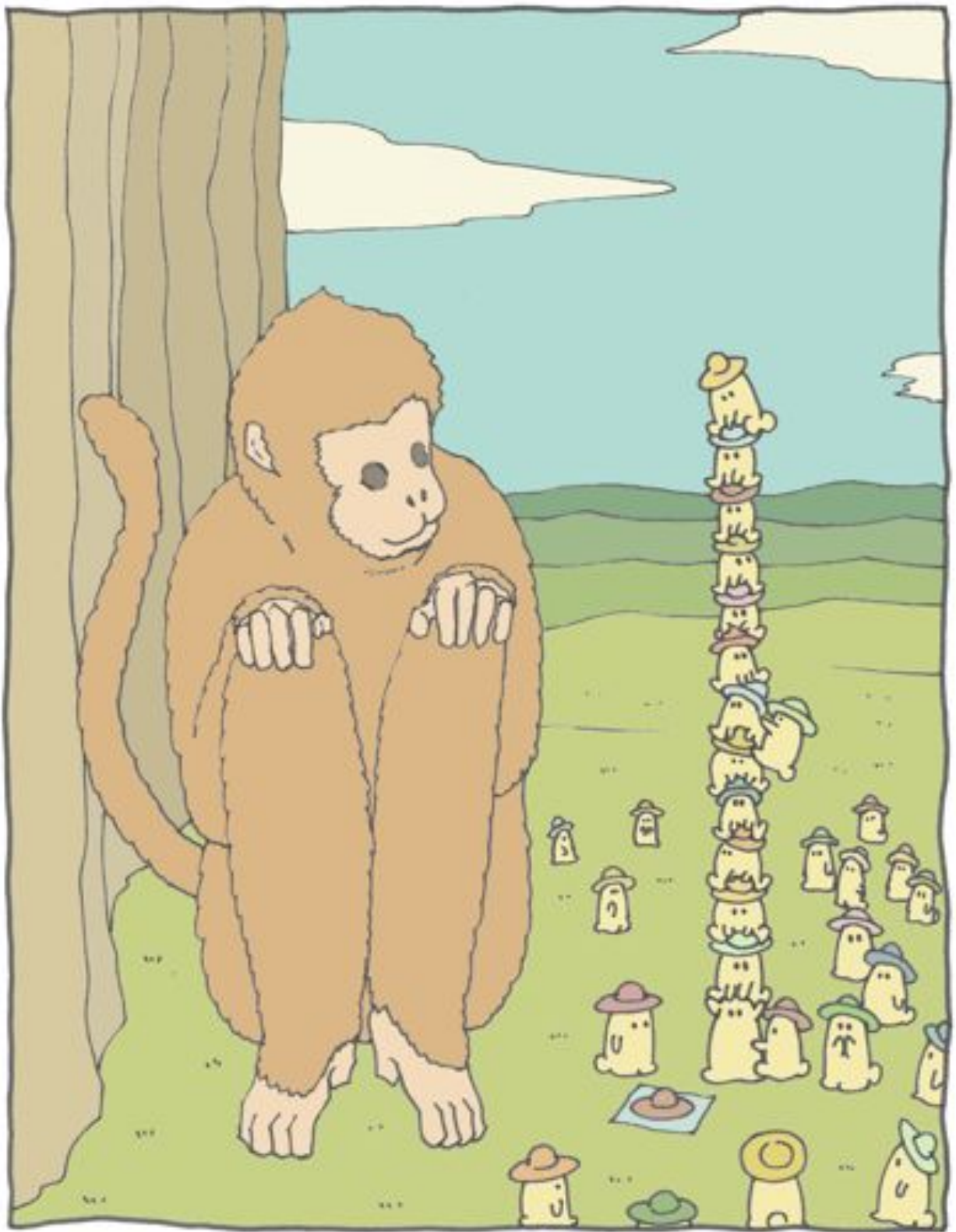
サルの いうた。

テトとサルはサルのもってきたおみやげのバナナをたべながらいっぱいおはなしをしたとげな。まちのテトラたちもあつまってみんなでおいしくバナナをたべたげな。

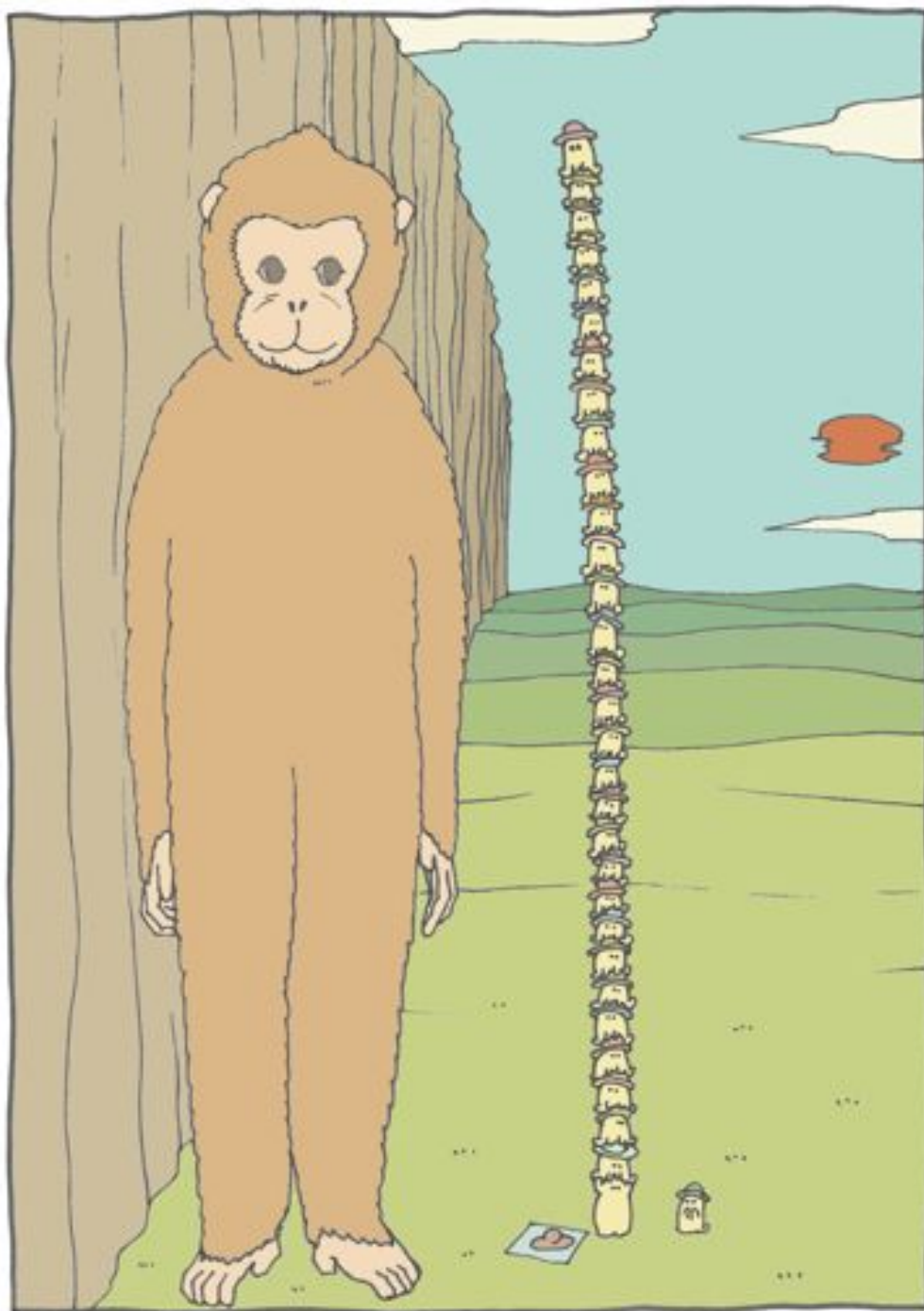




「そいでさ わいは どんくらい せの たかかとか？
おいたち なんにん かたぐるま すれば よかとか？」
まちの テトラたちが いうたげな。
「そんならさ テトラがけまで いって はかって
みれば よかとじゃ。」テトが いうた。
「うん、よかよ！」サルが いうた。
サルが どんくらい せの たかかとか
はかるため みんなで テトラがけに いったげな。



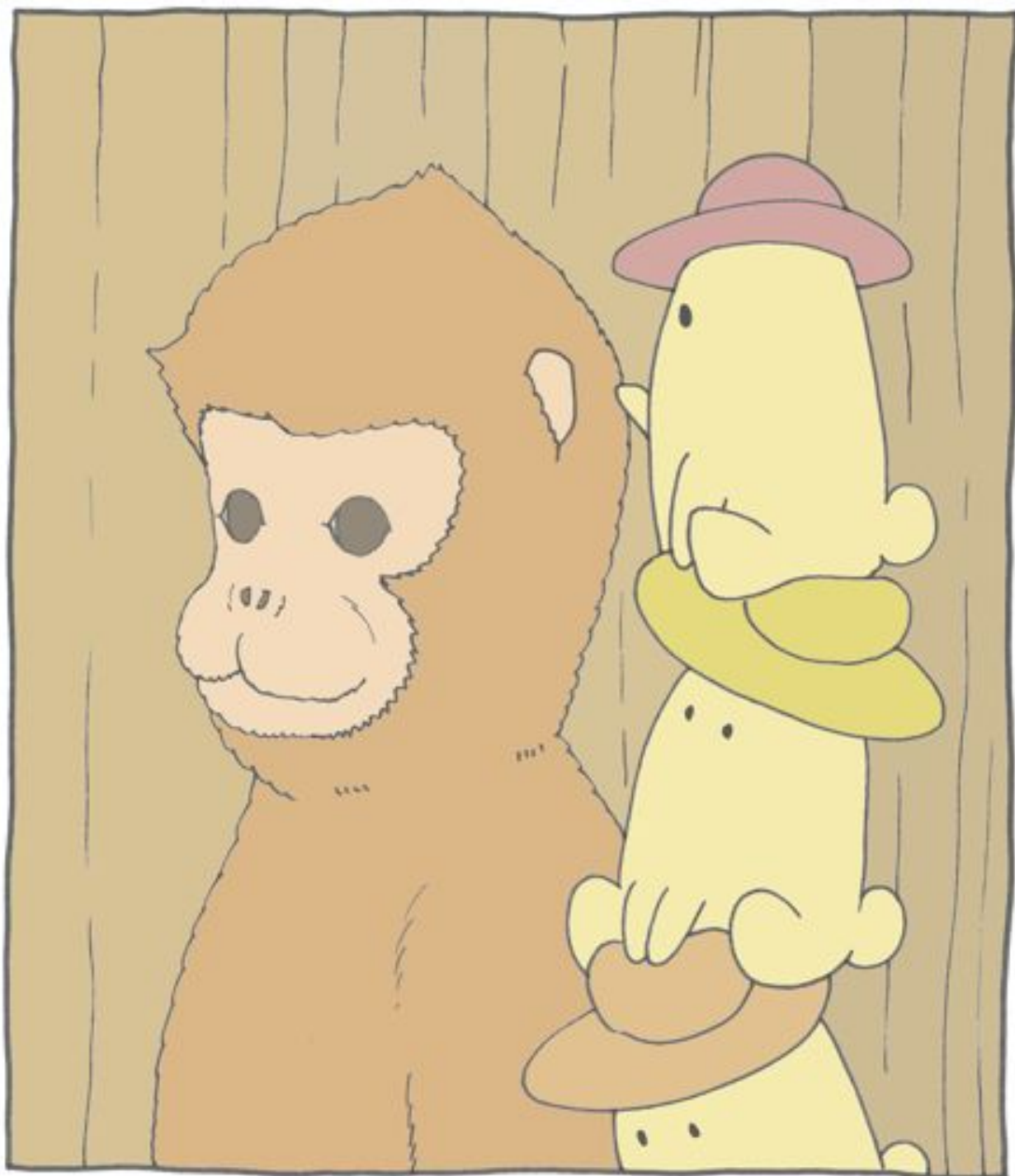
「1, 2, 3, 4…」

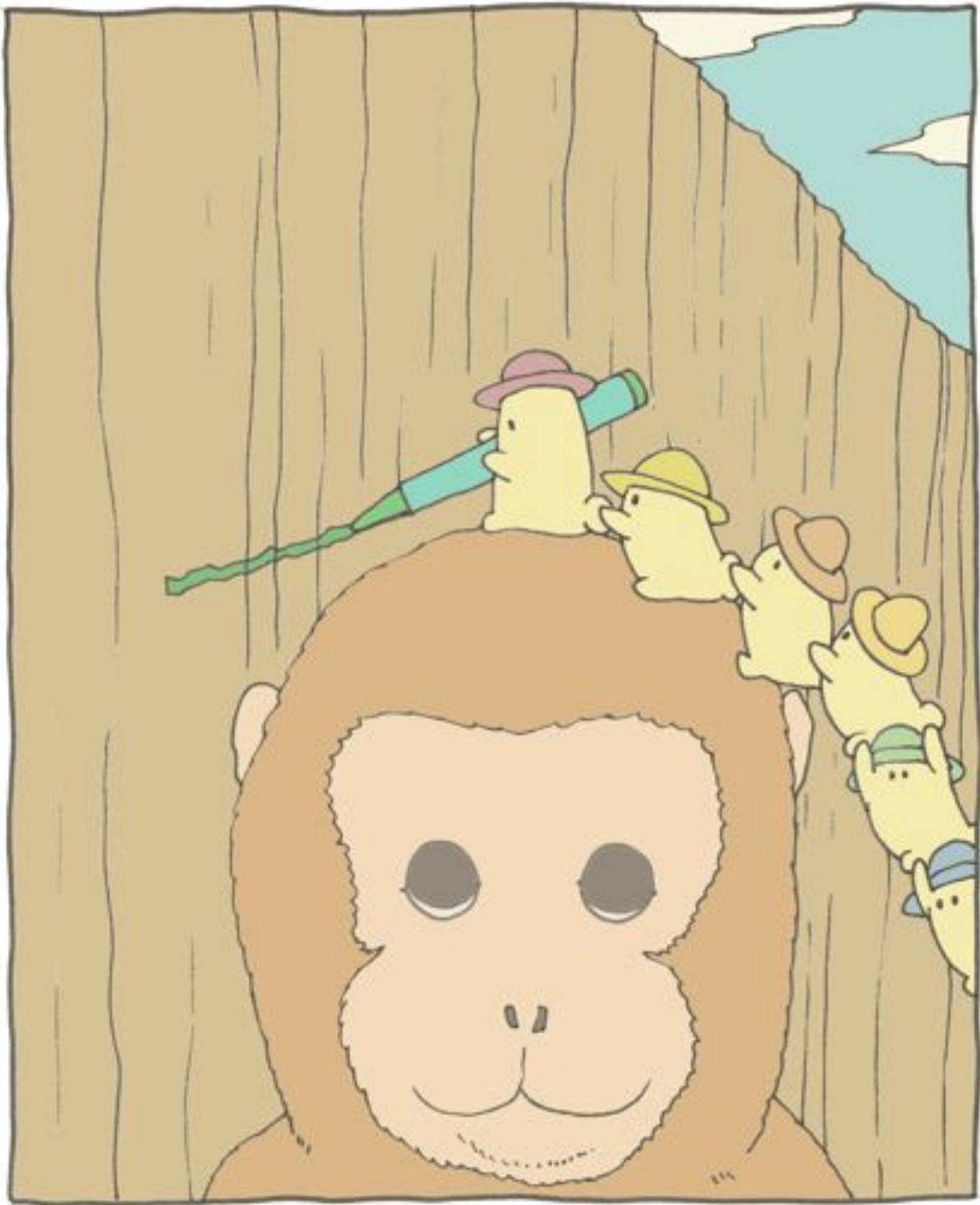


31にんの テトラたちが かたぐるまば した
ところで やっと サルと おんなじ たかさに
なっ たげな。

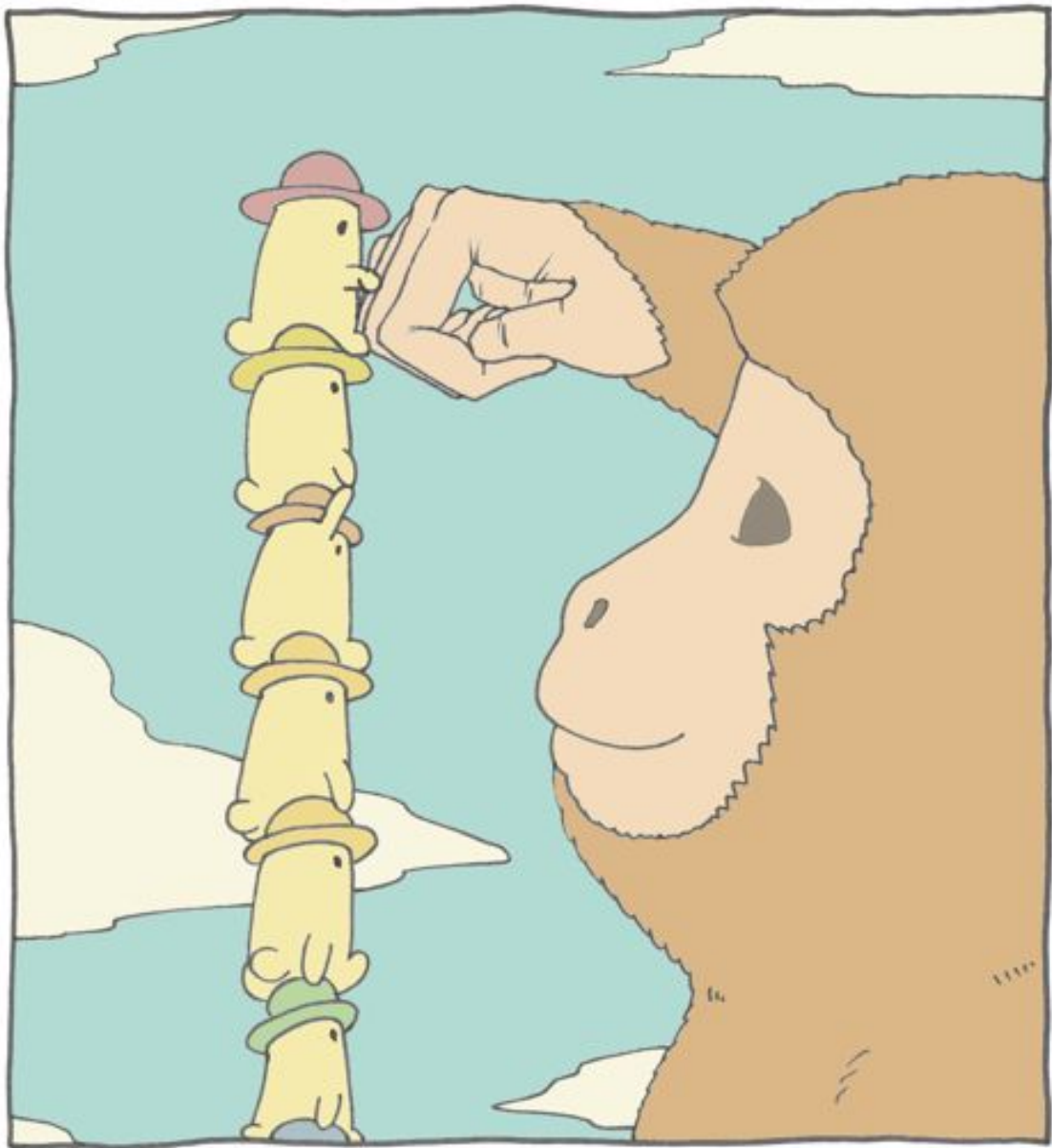
「そいばってん おいは まだ せの たこう
なっばい。おいは まだ こどもやけんね。」
サルが いうたと。

「そうやろね。そしたらさ しるしば
つけとこうか。」テトが いうたと。





テトは テトラがけに しるしば つけたげな。



「ああ、そろそろ かえらんば。」

サルが いうた。

「そうたいね…。また すぐに あそびに こんね。」

せも はかりたかし。」

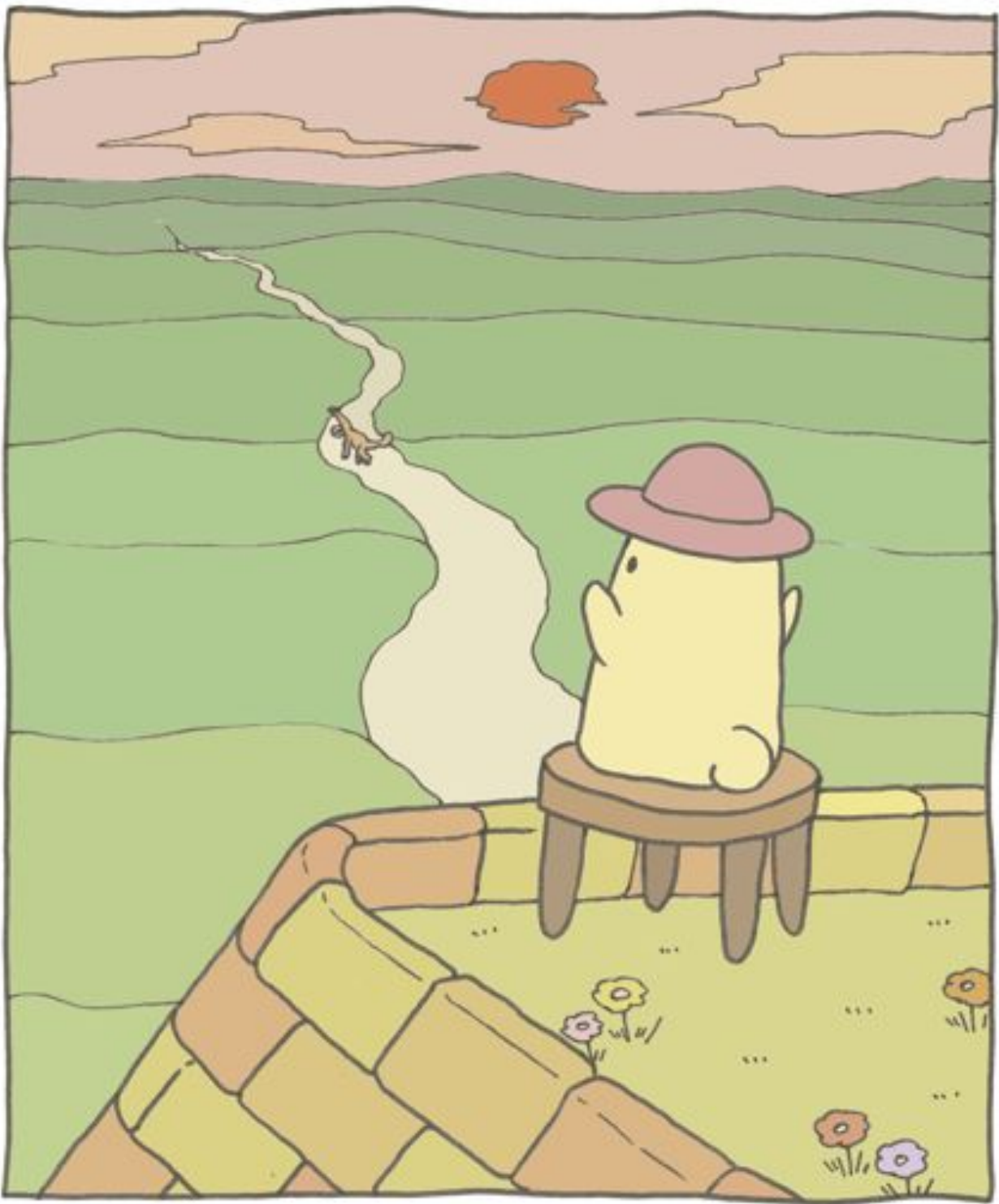
テトが いうた。

「もちろん！また すぐに あそびに くっさ。」

せも はかりたかし。」

「やくそくばい。」

「うん、やくそくたい。」



「また すぐに あえるやろ！」

「また すぐに あえるさ！」

サルは じぶんの いえに かえって いったとさ。

ふたりは また すぐに あうことになると

ばってん そいは また べつのおはなしげな。

